

第八十二回帝國議會 昭和十八年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲
衆議院 公債發行ニ關スル法律案外九件 委員會會議錄(速記)第八回

昭和十八年二月十五日(月曜日)午後一時十
六分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 矢野庄太郎君

理事南 鐵太郎君

赤間 德壽君

長内 健榮君

田部 朋之君

松田 正一君

森部 隆輔君

出席國務大臣左ノ如シ

大藏大臣 賀屋 興宜君

出席政府委員左ノ如シ

法制局長官 森山 銳一君

大藏次官 谷口 恒二君

大藏省國民貯蓄局長 氏家 武君

大藏省資金局長 松田 令輔君

大藏省理財局長 田中 豐君

大藏省銀行局長 山際 正道君

大藏省監理局長 相馬 敏夫君

大藏書記官 河野 一之君

大藏書記官 窪谷 直光君

大藏書記官 加藤 八郎君
事實局長官 木内 四郎君
事實局理事 濱田 德海君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

臨時資金調整法中改正法律案(政府提出、
貴族院送付)

普通銀行等ノ貯蓄銀行業務又ハ信託業務
ノ兼營等ニ關スル法律案(政府提出、貴
族院送付)

銀行等ノ事務ノ簡素化ニ關スル法律案
(政府提出、貴族院送付)

戰爭死亡傷害保險法案(政府提出、貴族
院送付)

鹽專賣法中改正法律案(政府提出、貴族
院送付)

昭和十二年法律第八十四號中改正法律案
(大東亞戰爭ニ關スル臨時軍事費支辨ノ
爲公債發行ニ關スル件)

○矢野委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、
本委員會ニ付託セラレテ居リマス法律案ハ、
臨時資金調整法中改正法律案、普通銀行等

ノ貯蓄銀行業務又ハ信託業務ノ兼營等ニ關
スル法律案、銀行等ノ事務ノ簡素化ニ關ス
ル法律案、戰爭死亡傷害保險法案、鹽專賣法
中改正法律案、以上五件ハ貴族院送付ノ案
デアリマスガ、其ノ外ニ昭和十二年法律第
八十四號中改正法律案(大東亞戰爭ニ關スル
臨時軍事費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件)ノ
六件デアリマスガ、マダ政府ノ説明ガゴザ
イマセヌノデ、此ノ際政府ノ説明ヲ求メマス

○谷口政府委員 本委員會ニ付託ニ相成リ
マシタ臨時資金調整法中改正法律案外五件
ニ付キ、其ノ提案ノ理由ヲ説明致シマス

現下政府各般ノ施策ノ重點ハ、大東亞戰
爭ノ完遂ヲ目的トスル戦力ノ増強ト云フ一
點ニ集中致サナケレバナラスコトハ、今更
申上ゲルマデモナイ所デアリマス、政府ニ
於キマシテハ、從來ト雖モ各般ノ有効適切
ナル施策ヲ講ジツツアルノデアリマスガ、
本委員會ニ付託セラレマシタル今回ノ六
件ノ法律案ハ、國民貯蓄ノ増強、國民生
活ノ維持安定等、何レモ戦力ノ増強上緊急
缺クベカラザル施策ニ即應セントスルモノ

付託議案
臨時資金調整法中改正法律案(政
府提出、貴族院送付)(第七一號)
普通銀行等ノ貯蓄銀行業務又ハ信
託業務ノ兼營等ニ關スル法律案
(政府提出、貴族院送付)(第七二
號)
銀行等ノ事務ノ簡素化ニ關スル法
律案(政府提出、貴族院送付)(第七
三號)
戰爭死亡傷害保險法案(政府提出、
貴族院送付)(第七四號)
鹽專賣法中改正法律案(政府提出、
貴族院送付)(第七五號)
昭和十二年法律第八十四號中改正
法律案(大東亞戰爭ニ關スル臨時
軍事費支辨ノ爲公債發行ニ關スル
件)(第八五號)

デアリマス、各法律案ノ内容ニ付キマシテハ、
既ニ本會議ニ於テ其ノ要點ヲ御説明致シタ
ノデアリマスルガ、尙ホ之ヲ多少敷衍シテ
申上ゲルコト致シマス

先ヅ臨時資金調整法中改正法律案ニ付キ
説明致シマス、戰時財政經濟ノ圓滑ナル運行
ヲ確保シ、多額ノ戰費及ビ産業資金ヲ調達
シ、戦力ノ増強ヲ圖リマスコト、益、緊要ト相
成ツテ居リマスコトハ、茲ニ申上ゲルマデ
モアリマセヌ、是ガ爲ニハ各般ノ措置ヲ講
ジマシテ、國民貯蓄ノ増強、浮動購買力ノ
吸收ヲ圖リマスト共ニ、國債其ノ他ノ證券
ノ消化促進、産業資金ノ調達及ビ國民貯蓄
ノ保護ノ爲メ、有價證券ノ適正簡易ナル賣
買機構ヲ整備シ、株式ノ市價安定ヲ圖ル必
要ガアルノデアリマシテ、今般臨時資金調
整法ヲ改正シ、之ニ必要ナル規定ヲ設クル
コトト致シタルデアリマス、先ヅ本法案ノ
主ナル點ヲ説明致シマス

改正ノ第一點ハ、新種貯蓄方法ヲ實施シ、新
種證券ヲ發行シ得ルコトト致シタルコトデア
リマス、即チ第一ニ、銀行其ノ他ノ各種貯

蓄取撥機關等ハ、從來ト雖モ政府及ビ金融統制會ノ指導ノ下ニ、國民貯蓄ノ増強ニ力ヲ盡シテ參ツテ居ルノデアリマスガ、今般國民貯蓄ノ増強ヲ圖ル爲メ必要アリト認ムル時ハ、政府ハ銀行、其ノ他ノ所謂貯蓄取扱機關等ニ對シ、各種ノ新種貯蓄ノ取扱ヲナサシメ、且ツ之ニ付キ課稅上ノ優遇措置ヲ講ジ得ルコトヲ致シマスル共ニ、貯蓄者ノ便宜ヲ圖リ、種々貯蓄施設ノ整備ヲ行ハシムル等、資金ノ吸收ニ關シ必要ナル命令ヲナシ得ルコトヲ致シ、以テ現下時局ノ要請ニ基キ今後一層ソレノ機能ヲ最モ有效ニ活用シ、政府ト一體ノ活動ヲナサシムルコトヲ致シタノデアリマスガ、之ニ伴ヒ必要ニ應ジ損失補償、又ハ補助金交付等ノ方途ヲ講ズルコトヲシ、以テ是ガ效果ノ萬全ヲ期スルコトヲ致シタ次第デアリマス

第三ニ、元來貯蓄手段ニ對シ割増金ヲ附與スルコトハ、國民大衆ノ微妙ナル心理ヲ利用シテ、零細ナル資金、或ハ動モスレバ戰時下好マシカラザル消費ニ向ヘントスル購買力ノ吸收ヲ圖ルコトヲ目的トスルモノデアリマスガ、是ガ爲ニハ割増金ヲ附スベキ貯蓄手段、割増金附與ノ方法及ビ金額、或ハ其ノ賣出又ハ募集ノ方法等ニ付キ、絶エズ新ナル工夫ヲ加フルコトガ適當ト認メラレノデアリマシテ、今般現在ノ貯蓄債券、報國債券或ハ割増金附郵便貯金、切手以外ニ、一定ノ者ヲシテ新規構想ニ基キ各種ノ割増金附證券ヲ發行セシメ得ルコトヲスル共ニ、證券ノ形體以外ニ各種ノ預貯金ニ對シマシテモ、必要ニ應ジ抽籤ヲ以テ割増金ヲ附スルコトヲ得ルコトヲ致シタノデアリマス

次ニ改正ノ第二點ハ、貯蓄債券及ビ報國債券ノ發行償還事務ノ輻湊ヲ緩和スル爲メ、社債原簿制度ヲ省略スル共ニ、兩債券發行償還ノ都度、日本勸業銀行本支店所在地ニ於テ行フコトヲ要シマスル發行並ニ償還登記ヲ省略セントスルモノデアリマス、兩債券ノ賣出成績ハ、毎回極メテ順調ニ推移シ、昨年十二月末マデノ發行額累計ハ十七億八千萬圓ニ上リ、且ツ其ノ發行額ハ逐年累増ノ傾向ヲ辿ツテ居リマス、而シテ兩債券ハ共ニ日本勸業銀行ヲシテ發行セシメテ居リマスル關係ヨリ、形式上ハ一種ノ社債トナリ、商法ノ社債ニ關スル複雜ナル諸規定ハ特則ノナイ限り當然適用サレ

ノデアリマスガ、右ノ如キ實狀ニアル兩債券ニ商法ノ原則ヲ適用スルコトハ、是ガ事務莫大ニ上リ、事實上事務的行詰リヲ來スノデアリマス、是ガ解決ヲ圖ル共ニ、戰時下資材、勞力不足ノ折柄、其ノ節減ニ資スル爲メ、社債發行ノ條件變更、償還ノ都度右ノ諸事項ヲ發行會社タル日本勸業銀行ノ本支店所在地ニ於テ登記スベキコトヲ規定シテ居リマスル商法第三百五條ノ適用ヲ除外致シ、併セテ社債發行償還ノ都度債券一枚々ノ番號並ニ當該年月日ヲ記入スルコトヲ規定シテ居リマスル商法第三百十七條ノ適用ヲ除外致スノ要アルモノト認メラレノデアリマス、而シテ商法第三百五條ノ適用ヲ除外致シマス結果、當然不要トナリマスル日本勸業銀行法第三十五條ノ二第四項、第五項並ニ第三十五條ノ四ノ準用ヲモ除外セントスルノデアリマス

ス

第二ニ、現在國債其ノ他ノ債券等ニ於キマシテハ、其ノ券面金額ノ種類ニハ一定ノ制限ガアリ、金利其ノ他ノ關係デ當時賣出ノ方法モ採リ難ク、又各種ノ預貯金、金錢信託等、所謂金錢貯蓄ニ付キマシテモ、當該貯蓄取扱機關ノ所在地ノ遠近、店舖數ニ限リアル等ノ理由ニ依リ、何レモ貯蓄手段トシテハ尙ホ不便ノ場合ガ多イノデアリマス、併シナガラ國民貯蓄ノ増強ヲ圖ツテ參リマスルニハ、苟クモ貯蓄手段ノ不備等ノ理由ニ依リ、貯蓄ノ機會ヲ逸セシムルコトガアツテハナラナイノミナラズ、進ンデ能フ限り簡便ナル方法ヲ案出シ、是ガ増強ヲ期スルノ必要ガアルト考ヘラレマスノデ、茲ニ一定ノ預貯金等ニノミ充ツルコトヲ目的トスル證券ヲ政府自ラ發行シ、又ハ命令ノ定ムル者ヲシテ發

行セシムルコトヲ致シ、以テ右趣旨ノ遂行ヲ期スルコトヲ致シタノデアリマス

改正ノ第三點ハ、適正簡易安全ナル有價證券ノ賣買機構ヲ整備セントスルコトデアリマス、支那事變勃發以來、現在マデノ國債發行額ハ四百十六億餘萬圓ニ上リマスル外、貯蓄債券及ビ報國債券ノ發行額モ前申述べマシタル如ク極メテ多額ニ上ツテ居リマスガ、今後戰費及ビ生産力擴充資金ノ調達ノ爲メ國債其ノ他ノ證券ノ發行額ハ益々増加スルノデアリマシテ、是ガ消化、特ニ國民大衆ノ消化ヲ圖滑化シ、且ツ其ノ消化力ヲ促進致シマスル爲ニハ、一般國民ガ已ムヲ得ザル必要アル時ハ、何時ナリトモ所有ノ國債、其ノ他ノ證券ヲ適正ナル價格ヲ以テ簡易安全ニ賣却スルコトヲ得、又何時ナリ

トモ希望スル必要ノ種類、數量ノ證券ヲ購入シ、又ハ希望ノ證券ニ交換シ得ル機構ヲ設クルコトガ必要デアリマス、現在ニ於テモ郵便局賣出國債ニ付テハ、必要ニ應ジ郵便局ニ於テ之ヲ買入レ、又百貨店ニ於テハ當時小額國債、貯蓄債券及ビ報國債券ヲ賣却シテ居ルノデアリマスガ、今般更ニ一層廣ク且ツ簡便ニ國民ガ國債、貯蓄債券、報國債券等ヲ適正ナル價格、且ツ簡易ナル手續ニ依ツテ安全ニ賣買シ得ル機構ヲ設クルコトヲ適當ト認メ、是ガ爲メ政府ハ金融機關、證券引受業者、其ノ他命令ノ定ムル者ヲシテ一定ノ有價證券ヲ一定ノ價格、方法等ニ依リ直接賣買セシメ、又ハ政府ノ指定スル法人ノ爲ニ賣買ノ代理、若クハ媒介ヲナスベキコトヲ命ジ得ルコトヲシ、又國債、其ノ他ノ證券ヲ當時賣却セシムル爲メ、是等ノ金融機關等ヲシテ一定ノ種類、數量ノ證券ヲ保有セシメ得ルコトヲシ、之ニ伴ヒ必要ニ應ジ損失ヲ補償シ、又ハ補助金ヲ交付シ得ルコトヲ致シタノデアリマス

最後ニ改正ノ第四點ハ、必要ニ應ジ株式ヲ讓渡スベキコトヲ命令シ得ルコトトスルコトデアリマス、大東亞戰爭下株式ノ市價安定ヲ圖リ、以テ資金動員ノ適正ヲ期シ、産業資金ノ調達、國民貯蓄ノ保護ニ遺憾ナカラシムルコトノ緊要ナコトハ多言ヲ要シナイ所デアリマシテ、從來政府ニ於キマシテモ是ガ爲メ各種ノ措置ヲ講ジテ參リ、殊ニ戰時金融金庫ハ政府ノ指導ノ下ニ株式ノ市價安定ノ爲ニ必要ナル賣買操作ヲ行ツテ來タ次第デアリマス、然ルニ同金庫ガ株式市價ノ適當ナル昂騰時ニ際シマシテ、是ガ抑止

ノミナラズ、進ンデ能フ限り簡便ナル方法ヲ案出シ、是ガ増強ヲ期スルノ必要ガアルト考ヘラレマスノデ、茲ニ一定ノ預貯金等ニノミ充ツルコトヲ目的トスル證券ヲ政府自ラ發行シ、又ハ命令ノ定ムル者ヲシテ發

行セシムルコトヲ致シ、以テ右趣旨ノ遂行ヲ期スルコトヲ致シタノデアリマス

改正ノ第三點ハ、適正簡易安全ナル有價證券ノ賣買機構ヲ整備セントスルコトデアリマス、支那事變勃發以來、現在マデノ國債發行額ハ四百十六億餘萬圓ニ上リマスル外、貯蓄債券及ビ報國債券ノ發行額モ前申述べマシタル如ク極メテ多額ニ上ツテ居リマスガ、今後戰費及ビ生産力擴充資金ノ調達ノ爲メ國債其ノ他ノ證券ノ發行額ハ益々増加スルノデアリマシテ、是ガ消化、特ニ國民大衆ノ消化ヲ圖滑化シ、且ツ其ノ消化力ヲ促進致シマスル爲ニハ、一般國民ガ已ムヲ得ザル必要アル時ハ、何時ナリトモ所有ノ國債、其ノ他ノ證券ヲ適正ナル價格ヲ以テ簡易安全ニ賣却スルコトヲ得、又何時ナリ

トモ希望スル必要ノ種類、數量ノ證券ヲ購入シ、又ハ希望ノ證券ニ交換シ得ル機構ヲ設クルコトガ必要デアリマス、現在ニ於テモ郵便局賣出國債ニ付テハ、必要ニ應ジ郵便局ニ於テ之ヲ買入レ、又百貨店ニ於テハ當時小額國債、貯蓄債券及ビ報國債券ヲ賣却シテ居ルノデアリマスガ、今般更ニ一層廣ク且ツ簡便ニ國民ガ國債、貯蓄債券、報國債券等ヲ適正ナル價格、且ツ簡易ナル手續ニ依ツテ安全ニ賣買シ得ル機構ヲ設クルコトヲ適當ト認メ、是ガ爲メ政府ハ金融機關、證券引受業者、其ノ他命令ノ定ムル者ヲシテ一定ノ有價證券ヲ一定ノ價格、方法等ニ依リ直接賣買セシメ、又ハ政府ノ指定スル法人ノ爲ニ賣買ノ代理、若クハ媒介ヲナスベキコトヲ命ジ得ルコトヲシ、又國債、其ノ他ノ證券ヲ當時賣却セシムル爲メ、是等ノ金融機關等ヲシテ一定ノ種類、數量ノ證券ヲ保有セシメ得ルコトヲシ、之ニ伴ヒ必要ニ應ジ損失ヲ補償シ、又ハ補助金ヲ交付シ得ルコトヲ致シタノデアリマス

最後ニ改正ノ第四點ハ、必要ニ應ジ株式ヲ讓渡スベキコトヲ命令シ得ルコトトスルコトデアリマス、大東亞戰爭下株式ノ市價安定ヲ圖リ、以テ資金動員ノ適正ヲ期シ、産業資金ノ調達、國民貯蓄ノ保護ニ遺憾ナカラシムルコトノ緊要ナコトハ多言ヲ要シナイ所デアリマシテ、從來政府ニ於キマシテモ是ガ爲メ各種ノ措置ヲ講ジテ參リ、殊ニ戰時金融金庫ハ政府ノ指導ノ下ニ株式ノ市價安定ノ爲ニ必要ナル賣買操作ヲ行ツテ來タ次第デアリマス、然ルニ同金庫ガ株式市價ノ適當ナル昂騰時ニ際シマシテ、是ガ抑止

ノ爲ニスル賣り出動ハ之ニ必要ナ株式ノ手持ガナケレバ十分ナ效果ヲ舉グルコトヲ得ナイノデアリマシテ、株價操作萬全ヲ期スル爲ニハ、何時ニテモ同金庫ノ手持株式ヲ充實シ得ルノ態勢ヲ整ヘテ置クノ必要ガアルノデアリマス、又別途今議會ニ提案中ノ日本證券取引所法案ニ於テハ、場合ニ依リ新取引所ガ自ラ斯カル操作ヲ行フコトモ必要ト認メラレマスノデ、同法中ニ之ニ關スル規定ヲ設ケマシタノニ照應シ、日本證券取引所ニ付キマシテモ其ノ手持株式ノ補充ニ付キマシテ同様ノ必要ガアルノデアリマス、斯ル事情ニ顧ミマシテ、今般株式讓渡命令ニ關スル制度ヲ設ケ、政府ハ株式ノ市價安定ヲ圖ル爲メ必要アリト認ムルトキハ、金融機關、其ノ他命令ノ定ムル者ニ對シ、其ノ所有スル株式ノ一部ヲ戰時金融金庫、又ハ日本證券取引所ニ對シ時價ヲ以テ讓渡スベキコトヲ命ズルコトヲ得ルコトト致シマシタ

以上本法案ノ主ナル點ヲ御説明申上ダタノデアリマスガ、何レモ大東亞戰爭下資金ノ蓄積、浮動購買力ノ抑制等ヲ圖リ、以テ戰時財政經濟ノ圓滑ナル運行ヲ確保致シマスル上ニ於テ、極メテ緊要ナル措置ト存ズル次第デアリマス

次ニ普通銀行等ノ貯蓄銀行業務又ハ信託業務ノ兼營等ニ關スル法律案ニ付キ説明致シマス
本法律案ノ趣旨ハ、現下ノ經濟金融政策上資金ノ蓄積、貯蓄ノ増強ガ最モ緊要デアリ、是ガ爲ニハ凡ユル金融上ノ施設ヲ動員シ、資金ノ吸收、特ニ大衆の預金及ビ長期貯蓄の資金ノ吸收ニ對シ其ノ全能力ヲ

發揮セシムルコトガ極メテ肝要デアルト認メラレマスノデ、現存金融機關中、其ノ人員及ビ店舗數等ニ於テ最モ活動力アル普通銀行等ヲシテ、貯蓄銀行業務及ビ信託業務ヲ兼營セシメ、時局ノ要請ニ應ズル上ニ於テ遺憾ナキヲ期セントスルモノデアリマス

本法律案ノ内容ハ、第一ニ普通銀行ガ主務大臣ノ認可ヲ受ケ、又ハ特別銀行ガ主務大臣ノ指定ヲ受ケ、ソレト貯蓄銀行業務又ハ信託業務ヲ營ミ得ルコトヲ定メテ居ルノデアリマス、此ノ場合ニ於テ貯蓄銀行法又ハ信託業法中必要ナル規定ハ、之ヲ兼營銀行ニモ適用スルコトト致シタノデアリマシテ、其ノ主ナルモノハ供託ニ關スル規定、有價證券ノ割賦販賣ニ關スル規定、運用方法ノ特定セザル金錢信託ニ付キ、元本ノ補填、又ハ利息ノ補足ヲ爲シ得ルコトニ關スル規定、兼營業務ノ種類、又ハ方法ニ對スル主務大臣ノ監督權ニ關スル規定等デアリマス

第二ニ合併ニ關スル規定デアリマシテ、其ノ内容ハ信託會社又ハ信託業務ヲ兼營スル銀行ガ合併スル場合、銀行ノ合併ノ場合ノ如キ簡易手續ヲ執リ得ルコト及ビ兼營銀行ト信託會社トガ合併シ、又ハ兼營銀行同志ガ合併スル場合、合併後存續シ、又ハ新設セラルル兼營銀行ハ、合併ニ依リ消滅シタル信託會社又ハ兼營銀行ノ信託ニ關スル權利義務ヲ承繼スルコトノ二點デアリマス

第三ニ本法律案ニ伴ヒ必要ト認メラルル他ノ法律ノ改正等ニ關スル規定デアリマス、最後ニ本法律案ノ運用ニ當リマシテハ、專營ノ貯蓄銀行又ハ信託會社ト、兼營銀行トノ間ニ於テ、不當ノ競争ヲ生ゼサルヤウ

十分ニ留意致シ、兼營ノ認可ノ際、其ノ兼營業務ト種類及ビ方法等ニ付キマシテ適當ト認メラルル調整ヲ加ヘタイト考ヘデアリマス

次ニ銀行等ノ事務ノ簡素化ニ關スル法律案ニ付キ説明致シマス、本法律案ハ銀行、其ノ他ノ金融機關ノ事務ノ簡素化ヲ圖ルコトニ依リ、是等金融機關ヲシテ愈、其ノ機能ヲ發揮シ易カラシメ、以テ戰時下國家財政及ビ金融ノ圓滑ナル運営ニ資セントスルモノデアリマシテ、其ノ主ナル内容ハ三ツニ分レテ居ルノデアリマス

第一ハ金融機關ノ事業年度ヲ政府ノ會計年度ニ合致セシメントスルモノデアリマス、從來銀行、其ノ他ノ金融機關ノ事業年度ハ相當區區ト相成ツキ居リ、或ル者ハ政府ノ會計年度ト一致シテ居ルノデアリマスガ、其ノ他ノ大多數ノ者ハ曆年主義ニ依ツテ居ルノデアリマシテ、政府ノ會計年度トノ間ニ完全ナル一致ヲ缺イテ居ツタノデアリマス、然ルニ豫算ハ勿論資金計畫、物資動員計畫、生産力擴充計畫等、國家財政及ビ經濟運営ノ基礎タルベキ諸計畫ハ、何レモ政府ノ會計年度ヲ基礎トシテ樹立制定セラレルコトト相成ツテ居ルノデアリマシテ、其ノ爲メ是等計畫ノ立案ニ當リマシテハ、常ニ金融關係ノ諸資料ヲ政府ノ會計年度ニ引直ス必要ヲ存シタノデアリマス、又金融機關ガ是等計畫ニ對應シテ具體的ナ實施計畫ヲ樹立シ、若シクハ是等諸計畫ニ即應シテ、其ノ業務ヲ運営シテ參リマス爲ニハ、何レモ是等諸計畫ヲソレノ事業年度ニ引直ス必要ガアツタノデアリマ

ス、其ノ爲メ政府ト致シマシテモ、又金融機關自身ト致シマシテモ、種々煩雜ナル手數ヲ要シタノデアリマスガ、茲ニ此ノ缺陷ヲ是正スル爲ニ、金融機關ノ事業年度ニ付テハ總テ之ヲ政府ノ會計年度ト合致セシメルコトトシ、以テ金融機關等ノ事務ノ簡素化ヲ圖リ、併セテ右ニ申述ベマシタル諸計畫ノ立案及ビ實施ノ圓滑ヲ期スルコトト致シタ次第デアリマス

尙ホ今回ノ改正ハ現在其ノ事業年度ガ政府ノ會計年度ト合致シ居ラザル金融機關ニシテ法律ヲ以テ事業年度ノ規定ヲ設ケ居ルモノニ付テノミ之ヲ行フコトトシ、其ノ他ノ金融機關ニ付キマシテハ、命令ヲ以テ事業年度ノ定メアルモノハ、命令ヲ改正シ、ソレ以外ノモノハ定款ヲ改正セシメルコトニ依リ、總テノ金融機關ノ事業年度ヲ政府ノ會計年度ニ合致セシメルコトト致シタイト存ズルノデアリマス

第二ニ擔保附社債ノ擔保ノ變更手續ニ關シ擔保附社債信託法ニ對スル特例ヲ定メントスルモノデアリマス、現行法ニ依レバ擔保附社債ノ擔保ノ變更ニ付キマシテハ、事ノ輕重ニ拘ラズ、總テ社債權者集會ノ決議ニ依ラナケレバナラナイコトト相成ツテ居リ、而シテ此ノ變更ノ決議ハ記名債券ヲ有スル者及ビ無記名債券ヲ有スル者デアツテ、會日ヨリ一週間前ニ債券ヲ會社ニ供託シタルモノノ半數以上ニシテ、社債總額ノ半數以上ニ當ル社債權者ガ、議決權ヲ行使スルコトヲ要スルノデアリマシテ、其ノ爲メ受託會社ハ屢、單純ナル擔保ノ變更ノ爲ニ煩瑣ナル手數ヲ費シテ、社債權者集會ヲ招集セザ

ルヲ得ナカッタノデアリマス、然ルニ最近ノ實情ニ於キマシテハ、企業ノ整備統合ガ頻リニ行ハレ、或ハ一ノ會社ノ設備ガ他ノ會社ニ譲渡セラレ、或ハ數會社ノ設備ヲ合シテ一會社ヲ設立スル等ノ事例ヲ多數見テ居ルデアリマス、而シテ其ノ結果社債ノ擔保ニ付キマシテモ變更ヲ要スル場合ガ屢、生ジテ來ルデアリマスガ、斯ル際ニ當リマシテ、一々煩瑣ナル手數ヲ費シテ社債權者集會ヲ招集シテ居リマシタノデハ、戰時下急速ヲ要スル企業整備ノ必要ニ應ジ得ナイ虞モアルデアリマス、而モ是等ノ場合ニ於キマシテハ、概ネ分離セラレタ擔保ニ付キマシテハ、適當ナル對價ヲ取得スルデアリマシテ、之ヲ社債ノ擔保トシテ追加スル等ノ方法ヲ講ジマストキハ、社債權者ノ利益ノ保全ニハ支障ナイ場合ガ多イデアリマス、仍テ當分ノ内茲ニ擔保附社債信託法ニ特例ヲ設ケ、受託會社タル金融機關ガ變更後ニ於ケル擔保ノ價格ガ未償還社債ノ元利金ヲ擔保スルニ十分ナリト認メマス場合ニ於キマシテハ、擔保ノ變更ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケルコトヲ以テ足り、社債權者集會ノ決議ヲ必要トセザルコトニ改メ、以テ受託會社タル金融機關ノ事務ヲ簡素化シ、時局ノ要請ニ基キ社債擔保變更ノ手續ヲ簡易ニセントスルデアリマス

第三ハ銀行及ビ保險會社ノ監査役ガ監査書ヲ作成スベキ回数ヲ毎事業年度ニ付一回ト爲サントスルモデアリマス、銀行及ビ保險會社ノ監査役ハ、從來毎事業年度ニ付二回、即チ銀行ニ付キマシテハ三箇月ニ一回、保險會社ニ付キマシテハ六箇月ニ一回監査書ヲ作成スルコトヲ必要トシタノデア

リマスガ、近時金融機關ノ内容ハ十分堅實トナツテ參ツテ居ルデアリマシテ、右監査書ノ作成回数ヲ毎事業年度ニ付一回ニ減少セシメルモ、何等支障ナシト認メラレマスノデ、今回はガ改正ヲ爲スコトトシ、以テ監査役ノ行フベキ事務ノ簡素化ヲ圖ルコトニ致シタノデアリマス

次ニ戰爭死亡傷害保險法案ニ付キ説明致シマス、大東亞戰爭ノ前途ヲ按ジマスルニ、戰局ハ今後一段ト擴大進展スベキモノト考ヘナレバナラヌデアリマシテ、之ニ伴ヒ戰爭ニ因ツテ國民ガ死亡シ、又ハ傷害ヲ被ル危險モ今後尠クナイと思ハレルデアリマス、而シテ戰爭ニ因ツテ生ズベキ、國民ノ死亡傷害ニ對處スル施設ヲ完備致シマスルコトハ、戰時下ニ於ケル國民生活ニ何等ノ不安ナカラシメ、國民ノ士氣昂揚及ビ民心ノ安定ニ資スルト共ニ、戰場タルト銃後タルト問ハズ、國民ヲシテ後顧ノ憂ナク、各其ノ職域ニ於テ任務ヲ完ウセシメ得ル所以デアリマシテ、此ノ曠古ノ大戰爭ヲ完遂致シマスル上ニ洵ニ喫緊ノ要事ト申サネバナラヌデアリマス、政府ニ於キマシテハ是ニ深ク思ヒヲ致シ、戰爭ニ因ル死亡傷害ニ對シマシテハ、豫テ種々方策ヲ講ジテ參ツタノデアリマシテ、國家ノ行フ給與ノ制度ト致シマシテハ、現在軍人等ノ戰死傷ニ對スルモノノ外、戰時災害保護法及ビ防空從事者扶助令ニ基クモノ等ガアルデアリマス、併シナガラ是等ノ制度ハ何レモ國家ノ一方の給與デアリマス關係上、其ノ給與額等ニハ自ラ限度ガアリ、各人ノ生活ノ實情等カラ見テ、必ズシモ十分トハ申サレヌ場合ガ少クナイと思ハレルデアリマス、

又保險ノ方面ニ於キマシテハ、戰爭ニ因ル死亡ニ對シ生命保險金及ビ簡易生命保險金ノ支拂ガ現在行ハレテ居ルデアリマスガ、其ノ制度ノ建前ガ戰爭危險ノミヲ保險スル仕組ニハナツテ居ラズ、隨テ之ヲ戰爭保險制度トシテ見マスル時ハ、種々ノ點ニ於テ缺クル所ガアルデアリマス

次ニ傷害ニ對シマシテハ、戰爭危險ヲ擔保スル旅行傷害保險ガ一部ノ損害保險會社ニ依リ行ハレテ居ルデアリマスガ、普通ノ營業トシテ行フモノデアリマスカラ、保險料ガ高率デアリマス等、戰爭危險ノ擔保ニ對スル國民ノ需要ヲ充タスコトガ出來ナイデアリマス

斯ク見テ參リマスルト、戰爭ニ因ル死亡傷害ニ對スル施設ハ現在行ハレテ居リマスルモノノミヲ以テシマシテハ、必ズシモ全シトスルコトヲ得ナイデアリマシテ、殊ニ今後ニ於ケル戰局ノ一段ノ擴大進展ニ思ヒヲ致シマスル時ハ、此ノ際速カニ新ナル施設ヲ講ズルコトガ、極メテ緊要ト申サネバナラヌデアリマス、仍テ茲ニ戰爭ニ因ル死亡傷害ニ對シ特別ノ保險制度ヲ設ケルコトト致シタ次第デアリマス、是ヨリ本法案ノ要點ニ付キ説明ヲ申上ゲマス

第一ニ、本保險ハ戰爭ノ際ニ於ケル戰鬪行為、又ハ之ニ關聯アル事件ニ因ル死亡傷害ノミヲ保險事故トスルデアリマス

第二ニ、本保險ノ保險者ハ政府ノ指定スル保險會社ト致シマスルト共ニ、本保險契約ノ手續ハ之ヲ普通ノ場合ニ比シテ簡易ニシ、以テ本保險ニ加入スル者ノ便宜ヲ圖ルコトト致シタノデアリマス

第三ニ、本保險ノ被保險者、保險金受取人、保險金額、保險料、保險期間等ニ付キマシテハ、命令ヲ以テ之ヲ定メルコトトシ、本保險ノ公的性質ニ鑑ミ、其ノ仕組ハ保險會社ガ普通ノ營業トシテ行フ保險トハ著シク趣キ異ニ致シタノデアリマス

第四ニ、本保險ハ純然タル公的性質ヲ有スルモノデアリマシテ、保險會社ガ普通ノ營業トシテ行フ保險トハ全ク性質ヲ異ニスルモノデアリマスカラ、保險會社ガ本保險ニ因リ損失ヲ受ケタル時ハ、政府ニ於テ之ヲ補償致シマスルト共ニ、利益ヲ得タル時ハ之ヲ政府ニ納付セシムルコトト致シタ次第デアリマス

次ニ鹽專賣法中改正法律案ニ付キ説明致シマス、鹽ガ食料用及ビ工業用トシテ極メテ重要ナル物資デアリマスコトハ申スマデモナイ所デアリマスガ、特ニ食料鹽ハ他ニ代用品ノナイ國民生活ノ最低限度維持ノ爲メ絕對缺クコトノ出來ナイ必需物資デアリマスノデ是ガ供給ハ是非確保致サナケレバナラナイデアリマス、隨ヒマシテ、政府ハ夙ニ内地製鹽事業ノ維持發達ニ力ヲ用ヒマスルト共ニ、朝鮮、臺灣、關東州、滿洲及ビ支那等近海各地ニ於ケル鹽生產力ノ擴充ヲ圖ツテ參リマシタ結果、是等各地ニ於ケル鹽ノ供給力ハ著シク増強サレルニ至ツタノデアリマスガ、時局ノ進展ニ伴ヒ海上輸送力ノ關係等ニ依リマシテ、内地ニ於ケル鹽ノ需給ハ相當窮屈ナルヲ免レナイ狀況ニアルデアリマス、是等ノ情勢ニ對應致シマシテ、昨年一月以降鹽ノ販賣ニ關シ割當制度ヲ實施スル等、其ノ需給ノ調整ニ努メテ參ツタノデアリマ

スガ、今回更ニ鹽需給ノ安定ニ資スル爲メ左ノ諸點ニ付キマシテ、鹽專賣法中ニ改正ヲ加フルコトニ致シタ次第デアリマス、改正ノ骨子ハ大體四點デアリマスガ、以下簡單ニ御説明致シマスレバ、改正ノ第一點ハ、鹹水ノ用途制限ヲ緩和スルコトデアリマス御承知ノ通り我が國內地ニ於ケル製鹽方法ハ海水ニ操作ヲ加ヘ、鹹水ト致シマシテ之ヲ煎煮シテ鹽トスルノ通常ト致スノデアリマスガ、現在ハ此ノ鹹水ハ鹽製造以外ニハ使用シ得ナイコトニナツテ居ルノデアリマス、然ルニ鹽ノ用途中ニハ、醬油醸造、又ハ曹達製造等ノ如ク、鹽ヲ再ビ溶解シテ使用スルモノモアリマスノデ、此ノ際取締上等ノ支障ナキ限り鹹水ヲ直接使用シ得ルノ途ヲ開キマシテ、鹽需給調整ニ資スルコトト致シマシタ

第二ノ點ハ、鹽又ハ鹹水ノ製造廢止ニ付キ政府ノ許可ヲ要スルモノトスルコトデアリマス、鹽又ハ鹹水ノ製造ハ現在一箇月以前ニ申告スレバ、自由ニ之ヲ廢止シ得ルコトニナツテ居リマスガ、斯クテハ鹽又ハ鹹水ノ生産確保上不適當デアリマスカラ、之ヲ改メマシテ、鹽又ハ鹹水ノ製造廢止ニ付キ政府ノ許可ヲ要スルモノト致シマシタ

第三點ハ鹽又ハ鹹水ノ製造者ニ對スル罹災補償ノ制度ヲ設クルコトデアリマス、鹽田ハ其ノ性質上海濱ニ位シマス關係上、高潮海嘯等ノ危險モ少クアリマセヌノデ、鹽又ハ鹹水ノ製造者ガ是等災害ニ依リマシテ、其ノ製品ノ滅失、或ハ損傷、又ハ其ノ他ノ事由ニ因リ損害ヲ被リマシタ場合ニハ、製造者ニ對シテ損害ノ一部ニ相當スル補償金ヲ與フルコトトシ、以テ製鹽事業ノ安定ヲ圖ルコトト致シマシタ

第四點ハ、鹽製造者等ノ共同活動ヲ促進

セシメ、鹽生産ノ増強ヲ圖ル爲メ鹽業團體ノ機構ヲ確立スルコトデアリマス、現在ニ於テモ鹽業團體ノ組織ガアルノデアリマスガ、是等團體法中ニハ産業組合タルモノ、工業組合タルモノ、工業小組合タルモノ、又ハ單ナル申合組合タルモノ等アリマスガ、是等ニ對シマシテ、製鹽用資金、資材及ビ勞力ノ供給ヲ一層圓滑ナラシムルト共ニ、其ノ共同活動ヲ益、強化促進セシメ、以テ鹽生産ノ増強ヲ圖ル爲メ此ノ際ニ是等團體ニ對シテ鹽業ノ實體ニ適合シタ統一的人格ヲ與ヘマシテ、製鹽事業ノ改善發達ニ資スルコトトシマシタ次第デアリマス

次ニ昭和十二年法律第八十四號中改正法律案ニ付キ説明致シマス、臨時軍事費ニ付キマシテハ、第七十二回乃至第七十九回帝國議會ノ協賛ヲ經マシテ、其ノ財源ノ一部ニ充ツル爲メ政府ハ三百九十四億九千九百五十萬圓ヲ限リ公債ヲ發行シ、又ハ借入金ヲナシ得ル權能ヲ得テ居ルノデアリマスガ、今回ノ臨時軍事費二百七十億圓ノ追加計上ニ伴ヒマシテ、其ノ所要財源中、一般會計及ビ特別會計ヨリノ繰入金等ヲ以テ充當シ、尙ホ不足スル金額ニ付キマシテハ、公債又ハ借入金ノ財源ニ依ルコトヲ要シマスノデ、右ノ法定限度額ノ増加ヲ必要ト致シマスル處、今後ニ於ケル事務ノ簡捷ヲ圖ル等ノ趣旨ニ依リマシテ、右限度額ヲ臨時軍事費特別會計ニ於ケル歳出豫算額ヨリ當該特別會計ニ於ケル他會計ヨリノ受入金、其ノ他ノ普通歳入ヲ控除シタル額ニ相當スル金額ニ改ムルヲ適當ト認メタノデアリマス、尙ホ朝鮮總督府、臺灣總督府、樺太廳及ビ關東局ノ各特別會計ニ於ケル今回ノ増稅等ニ依ル收入額ノ一部並ニ朝鮮總督府及ビ臺灣

總督府ノ各特別會計ニ於ケル今回ノ煙草ノ値上ニ因ル增收額ノ一部ヲモ臨時軍事費ノ財源ニ充ツルコトト致シマシタル等ニ伴ヒマシテ、是亦今後ニ於ケル事務ノ簡捷ヲ圖ル趣旨ノ下ニ、昭和十三年法律第二十三號中所要ノ改正ヲ本法律案ノ附則ヲ以テ行フコトト致シテ居リマス

以上御説明申上ゲマシタル六件ノ法律案ニ付キマシテハ、何卒御審議ノ上速カニ御贊成アラシコトヲ希望致シマス

○矢野委員長 是ヨリ質疑ニ入りマスガ、各案ヲ一括シテ質疑ヲ致シマスヨリモ、案ノ進捗ヲ圖ル爲メ一ツノ法律案ニ付テ質疑ヲ行フコトニ致シタイト存ジマス

先ヅ昭和十二年法律第八十四號中改正法律案(大東亞戰爭ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件)ニ付テ質疑ヲ許シタイト思ヒマス、通告順ニ依ツテ松田君ニ發言ヲ許シマスガ、大藏大臣ガ御見エニナツテ居リマセヌノデ、如何致シマスカ

○松田(正)委員 大體質問ハ局長ニ答辯デ宜イコトガ大部分デゴザイマスガ、只今付議サレテ居リマス昭和十三年法律第八十四號中改正法律案ニ付テハ是非大臣ノ御意見ヲ承ツテ置キタイト存ジマスノデ、大臣ガ御見エニナルマデ暫ク待つテモ宜シウゴザイマスガ……

○矢野委員長 只今大藏大臣ハ貴族院ニ出席セラレテ居ルサウデアリマシテ、今御都合ヲ尋ネル爲メ政府ノ方カラ人ガ參ツテ居リマスノデ、暫ク御待チナリマスレバ大藏大臣ガ出席サレト思ヒマス、ソレデ如何デゴザイマスカ

○松田(正)委員 サウ云フコトニ願ヒマセウ
○矢野委員長 ソレデハ此ノ際暫時休憩ヲ

致シマス

午後一時五十三分休憩

午後二時四十六分開議

○矢野委員長 休憩前ニ引續キ會議ヲ開キマス、昭和十二年法律第八十四號中改正法律案、大東亞戰爭ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件ニ付テ質疑ヲ致シマス……松田君

○松田(正)委員 大臣ニ御多忙中ヲ割イテ御出席ヲ願ヒマシテ感謝致シテ居リマスガ、實ハ大臣ニ御伺ヒマシテ置カナレバ何トナク根本ノ趣旨ガ分ラヌト云フノデ、特ニオイデヲ願ツタノデアリマス、其ノ要點ダケ大臣ニ御質問申上ゲマシテ、アトハモウ局長デモドナタデモ結構デアリマス、今付議サレテ居リマス昭和十二年法律第八十四號中改正法律案デゴザイマスガ、此ノ件ニ付テ少シク御尋ネラシテ置キタイト思ヒマス、一體公債ノ消化ト云フモノト、ソレカラ國民ノ實力トノ配合セト云フコトニ付テハ、年々何處ニ要點ヲ置カレテ居ルノカト云フコトヲ一點御尋ネ致シタイト思ヒマス

○賀屋國務大臣 戦時下ニ於テ必要ナルコトハ、武力ヲ戰爭ニ勝ツ爲メ必要ナル程度ニ備ヘルト云フコトデアリマス、其ノ武力ノ物質的方面ニ付キマシテハ、ドウシテモ必要ナル限度ニ之ヲ備ヘナケレバナリマセヌ、其ノ武力ノ物的方面ヲ構成致シマスルモノハ兵器彈藥ト申シマスルカ、軍ノ裝備ト申シマスカ、是等ノモノデアリマス、ソレヲ備ヘマス爲メハ、所要量ヲ所要ノ時期マデニ所要ノ種類ニ付テ造リ、又其ノ爲メ必要ナル運輸力、生産力ヲ整ヘナケレバナラヌ、斯様ニ相成ツテ參リマス、ト同時ニ一方

所謂國民生活ノ確保ヲ要シマス國民ガ前線補充ノ人的資源ノ源デアリ、又銃後ニ於テ戰力増強ノ爲ニ必要ナル生産、其ノ他ノ銃後ノ務メヲ致スノデアリマス、其ノ生活ノ確保ヲ要シマスノデ、此ノ全體ノ經濟力ト云フモノヲ整ヘテ行カケレバナラヌ、斯様ニ相成ル譯デアリマス、ソレヲ區分ラシテ申上ゲマスレバ、國民ガ所謂日常ノ消費生活ニ費シマスモノ、今ノ物の戦力ヲ整ヘマス爲ノ直接又ハ間接ニ必要ナル國費、又其ノ爲ニ國費ノ形ニアラズシテ、民間ノ生産資金ノ形ニ於テ行ハレマスモノ、大體此ノ三ツニ分チ得ルト思フノデアリマス、財政資金、生産擴充資金、國民消費資金デアリマス、其ノ財政資金ノ中、租税及ビ是同様ノ性質ニ依ツテ負擔シテ居ルモノト、國債ニ依ツテ支辨セラルルモノト、大キク二ツニ分レルト思フノデアリマス、隨ヒマシテ一方國民ノ最小限度ノ生活確保ガ必要デアリ、ソレヲ最小限度ニ切詰メマシテ、アト出來ルダケ多クヲ國費及ビ生産擴充費用ノ財源ニ充當スル、斯ウ云フコトニ相成リマス、國費ノ中デハ租税トシテ徴收シ得ル其ノ時ノ最大限ヲ考ヘマシテ、残りヲ公債ト致ス、斯ウ云フヤウナコトニ相成ル次第デアリマス、ソレガ根本ノ考ヘ方ノ區分ト致シテ居ル譯デアリマス

○松田(正)委員 サウ致シマスト本年度ノ院合ハセハ、ドウ云フ所ニ目安ヲ置イテ居ラレマスルノカ、今申サレマシタ各部門ニ向ツテ、目標ヲ定メテ位置カレテ居ルノカ、ソレデ此ノ豫算執行ノ爲ニ支障ハナイト云フコトニナツテ居リマスノカ、其ノ點ノ御説明ヲ一ツ願ヒタイト思ヒマス

○賀屋國務大臣 本年度ニ於キマシテハ先

ヅ直接戰費ノ負擔ガ、日本ノ國民經濟、國民所得ノ内ト外トニ分レルノデアリマス、本年度ニ於キマシテ戰費ト一般會計トノ定額ガ、約三百六十億圓ニ相成ルノデアリマス、其ノ中三十數億圓ハ普通ニ申ス國民經濟ノ負擔ノ範圍外デ之ヲナシ得ルト考ヘマシテ、是ハ臨時軍事費ノ財源トシテ計上致シテ居リマスル三十三億圓ノ借入金等デアリマス、残りノ三百二十億圓餘リニナリマスルカ、其ノ中、性質上ハ國民生活或ハ他ノ國費ノ主要部面ニ現ハレルヤウナ租税ノ性質ヲ有セザル歳入モアリマスノデ、大體國民負擔トシテ支辨スベキモノガ三百十億圓見當デアリマス、其ノ中百億圓ハ租税或ハ專賣收入等デ出來マスル爲ニ、殘餘ノ二百十億圓前後ノモノヲ公債ニ依ツテ支辨スル、斯ウ云フ考ヘ方デアリマス

○松田(正)委員 サウ致シマスト何レモ國民所得ト云フモノニ大體目安ヲ置イテ、ソレデ各部門ニ其ノ國民所得カラ生活費ヲ引イタモノヲ、割當テルト云フコトノヤウデアリマスガ、事變ガ起リマシテカラ今マデ臨時軍事費特別會計ノ方デ發行サレマシタ公債ノ年度別ノ表ガナイノデアリマスガ、今マデ毎年臨時軍事費特別會計ノ資金補填ニ關スル公債ト云フモノハ、一般公債ト内譯スルト、十二年カラ十七年ニ至ルマデノ間ニ、ドウ云フ風ニナツテ年々消化ヲサレテ居リマスカ、ソレガ御分リデアリマスレバ承リタイト思ヒマス

○山際政府委員 只今ノ御尋ネノ公債ニ關スル件ハ、一寸今手許ニ資料ガアリマセヌカラ、取寄セマシテカラ御答ヘ致シマス

○松田(正)委員 サウシマス今マデハ豫算ノ上デ、臨時軍事費ト云フモノガ現ハ

レテ、ソレノ方ニ色々繰入レル金額ガアツテ、ソレヲ差引キシタ残りガ公債ヲ發行シテ居タノデアリマス、ソレデ本年度其ノ臨時軍事費ノ中デ、三十三億圓ハ借入金デ行ク、百七十幾億圓ハ公債發行デ行クト云フノデアリマスガ、豫算ノ上デサウ云フ風ニ辻褄ヲ合ハシテ居リマス、併シ實際ソナバ七十億圓ト云フモノヲ消化スルコトガ、國民ノ實力ト院合ハシテ果シテ出來ルカドウカト云フコトヲ、オヒヒニ政府ニ對シテ疑ヲ質シ、或ハ其ノ方法等ヲ研究シテ行クノガ今日マデアツタ俗ニ申シマスレバ赤字公債委員會ト云フコトデ、審議サレテ來タノデアリマス、此ノ法律ニ依ツテ見マス、金額ヲ現ハサズニ、不足ノ金額ハ公債若シクハ借入レスルコトガ出來ルト云フコトニナツテ行キマス、豫算ノ辻褄ヲ合ハス上ニ於テハ、豫算ノ方デ現ハレテ居リマスケレドモ、ソレヲ實際ニ消化シテ行クト云フコトニ對シテハ、豫算以外ノ決議權ハナカッタノデアリマス、是ハヤハリ斯ウ云フヤウナ臨時軍事費ニ限ツテ、公債ヲ發行シ借入金ヲナスノハ、白紙デ政府ニ委任ヲスルト云フヤウナ事項ニナリハセヌノカ、斯ウ云フ風ニハ思レルノデアリマスガ、政府ハ其ノ肚デハアリマスマイケレドモ、吾々考ヘルト全ク議會ノ審議權ト云フモノカラ、是ダケハ白紙委任狀ヲ取ツテ置カウト云フヤウナ案ノヤウニ思ハレルノデスガ、ソコノ所ヲ大臣ノ方デ、御説明願ヒタイト思ヒマス

是ハ年々繰返シテ居ツタノデアリマスガ、議會ノ御審議ノ際ニハ常ニ國力ヲ考ヘ、戰爭ノ必要ヲ考ヘ、多少困難デモ戰爭ニ勝タルベカラズト云フ立場カラ、常ニ其ノ御協賛ヲ經テ居ル譯デアリマス、今年ニ於キマシテモ恐ラク臨時軍事費ハ、後カラ必要ナル色々ノ公債ノ實情ヲ調べ、發行ガ無理ナラバ、之ヲ減スト云フヤウナ御考ヘデモナイヤウニ私共想像致シテ居リマス、サウ云フ次第デアリマシテ、隨テ今回ノヤウニ歳出カラ財源ヲ引イタ残り、唯從來ト同ジヤウナコトヲ金額デ表ハスカ文字デ表ハスカノ差デアリマシテ、歳出ニ付キマシテハ議會デモ御審議ニナルコトデモアリマスノデ、斯様ニ致シタ譯デアリマス、尙ホ類似ノ場合モ吾々色々考ヘテ見マシタ、例ヘバ私設鐵道ノ買収ニ當リマシテモ、其ノ他色々ナ從來ノ公債等ニ於キマシテ、是ハ政府委員ヨリ申上ゲマスルガ、其ノ公債額ガ算定サルベキ基礎ヲ御協賛ヲ受ケマシテ、サウシテアトハ其ノ金額ガ算定サル基礎ニ從ツテ公債ノ發行額ガ決マルト云フモノモ今マデニモ例ガアルノデアリマス、隨テ今申上ゲマシタヤウニ、全然御審議ニナラヌト云フコトデナク、豫算其ノ他ニ付テモ御審議ニナル譯デアリマスルカラ、將來ノコトヲ全然政府ニ一任スルト云フヤウナ次第デハ全クナイノデアリマス、ソレニ依リマシテ今回ノヤウナ提案ヲ致シタ次第デアリマス

○松田(正)委員 鐵道其ノ他ノコトニ付テハ又アトデ御伺ヒヲ致シタイト思ヒマスルガ、成程臨時軍事費ノ公債ガ額ガ分ツテ、在來通りニ此ノ委員會ニ懸ツテ、別ニ之ヲ捉ヘテ議論スルト云フ考ヘハ持ツテ居ラナ

イ、併シナガラヤハリ國民ノ實力ガソレヲ消化出來ル狀態ニアルカドウカト云フコトヲ互ヒニ檢討ヲ加ヘテ行クコトガ、我が國財政ノ上カラ考ヘマシテ當然ノコトダト考ヘマス、ソコデ之ニ額ヲ表ハシ得ナイノナラバ、是ハ無理カラヌ所モアルカモ知レマセヌガ、表ハシ得ラレルモノヲナゼ表サズニ、法律デ包括的ニ發行ノ出來ルヤウニシテ居ルカ、ソコガ分ラヌノデス、今臨時軍事實費ノ方デ收入デ百七十億圓ハ公債、何々カラノ繰入デレダケ、是ダケノトシテ一番終ヒニ三十三億借入、斯ウシテ辻褄ヲ合ハシテ行ク、其ノ百七十幾億圓ト云フモノノ公債ヲ發行スルマデハ在來通り議會ノ協賛ヲ經ルト云フコトガ、ドウ云フ所デ障礙ガアツテ、斯ウ云フ法律ヲ出サシナラヌコトニナツタカト云フコトガ私ハ分ラヌノデス、今日マデ通りニヤツテ居ツテ宜イノヂヤナイカ、況ヤ憲法ノ上カラ言フト、サウ云フコトニナルノガ當然ノ解釋デハナイカト思ヒマスルガ、サウ云フ風ニ分ツテ居ル數字デモ、是ハ表サヌト云フ意味ガ私ハ分ラナイ、ソレニ付テモウツ進ンデ御説明ヲ願ヒタイト思フ

○賀屋國務大臣 別ニ他意ハアリマセヌ、臨時軍事實費ハ常ニ議會ニ於テ戰爭ニ必要ナリトシテ急速ニ御審議ヲ賜ツテ居ル、是ハ別ニ財源ハ拵ヘテヤラナイ、豫算ダケ通スト云フ御意思デモアルマイト思フ、既ニ議會ノ御意思ガサウデアリマスカラ、毎年同ジヤウナ形ヲ繰返シマスルヨリモ、今ノ形デアリマスレバ、毎年公債法トシテ形式的ニ御審議ヲ受ケマセヌデモ、事方運ブ、斯ウ考ヘタニ過ギナイノデアリマス

○松田(正)委員 サウスルト今マデヤツテ

居ツタコトハ無駄ナコトヲヤツテ居ツタコトニナルノデスカ、今マデヤツテ居ツタコトガ憲法上是ハ正當ナコトトシテヤツテ居ツタガ、今日はガ出來ル以上、既ニコンナモノハ出來テ居ナケレバナラヌ筈デアル、ソレヲ今日マデ此ノ法律ヲ作ラズニ、年々アノ赤字公債ヲ法律ノ上デ額ヲ決メテ、議會ノ承認ヲ經テ居ラレタ、ソコガ分ラヌ、ソレデ或ハ戰ガ複雑ニナツタカラ、此ノ額ガ殖エテ來ルト云フ御考ヘハアルカモ知レマセヌガ、ソレデモ公債ノ發行ヲ豫算ノ範圍内ニ於テヤツタナラバ額ハ分ル、額ガ分レバ、其ノ額ヲ示シテ議會ノ協賛ヲ求メテ置クコトガ憲法上カラ言フト、ソレガ本筋デハナイカト思ヒマス、其ノ公債ノ消化ニ付テ兎ヤ角申スノデハナイ、之ヲ議會ノ協賛ヲ經マスルノニ、コンナ廻リ諄クシナケレバナラヌト云フヤウナ煩雜ナ手續ガアレバ別デスガ、チヤント決ツテ居ルノデアリマセウ、憲法第六十二條ニ「新ニ租稅ヲ課シ及稅率ヲ變更スルハ法律ヲ以テ之ヲ定ムヘシ、但シ報償ニ屬スル行政上ノ手數料及其ノ他ノ收納金ハ前項ノ限ニ在ラス、國債ヲ起シ及豫算ニ定メタルモノヲ除外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スハ帝國議會ノ協賛ヲ經ヘシ」トナツテ居ル、其ノ註釋ニ之ヲ政府ノ專行ニ任セサルハ立憲政ノ一大美果トシテ直接ニ臣民ノ幸福ヲ保護スル者ナリ、蓋既ニ定マレル現稅ノ外ニ新ニ徵額ヲ起シ及稅率ヲ變更スルニ當テ適當ノ程度ヲ決定スルハ專ラ議會ノ公論ニ倚賴セサルコトヲ得ス若此ノ有效ナル憲法上ノ防範ナカリセハ臣民ノ富資ハ其ノ安固ヲ保證スルコト能ハサラムトス」ト書イデアル、ソレカラ報償ニ屬スル行政上ノ手數料其ノ他ノモノハ

違フト云ツテ、是ハ特ニ例ヲ舉ゲテアル、「即鐵道切符料倉庫料學校授業料等ノ類」ノ如キモノハ宜イ、ソレ以外ハイカヌ、行政上ノ手數料ト云ツテモ司法上ノモノハ此ノ限リデナイ、ソレハ印紙稅トカ訴訟ノ價格ニ應ジテ印紙ヲ徵收スルト云フヤウナ例ノコトデアリマセウ、是ハ宜イガ「國債ヲ起スニハ必議會ノ協賛ヲ取ラサルヘカラス豫算ノ效力ハ一ノ會計年度ニ限ル故ニ豫算ノ外ニ涉リ將來ニ國庫ノ負擔タルヘキ補助保證及其ノ他ノ契約ヲ爲スハ皆國債ニ同シク議會ノ協賛ヲ要スルナリ」ト書イデアル、ソレデ今マデ之ニ基イテヤツテ居ラレタノデス、果シテ之ニ基イテオヤリデアツタトスルナラバ、今此ノ法律ヲ作ツテ今マデヤツテ居ツタコトヲ變ヘルト云フノデアツタナラバ、此ノ憲法ノ解釋ヲ、今マデノ解釋ト今後ノ解釋ヲ異ニサレルト申サレルノデアルカ、一ツデアアルトスルナラバ、今マデハ無駄ナコトヲヤツタノダト申サレルノデアルカ、ソコノ所ヲハツキリ致シテ戴カナケレバ、既ニ軍事實費ト云フモノハ提出サレルト早速審議ヲ終リマシテ、無論勝タナケレバナラヌ態勢ヲ議會ハ整ヘテハ居リマスレドモ、是ハ豫算ガ決マツタト云フダケデアル、偕テドウシテ其ノ金ヲ出シテ行クカト云フコトハ是カラノ問題デアル、ソレデ之ヲ憲法ニ於テ、政府ノ方デ專ラ行フト云フコトニササズニ議會ノ協賛ヲ經ベシト云フコトハ、國民ノ富資ヲ保證スル道デアル、斯ウ云フヤウニ書イデ居リマスガ、之ヲ今日マデドウ云フ風ニ解釋サレテ居ツタカ、此ノ法律ヲ御作リニナル時ニ解釋ヲ二様ニサレテ居ツタノカ、其ノ點何ヒタイト思ヒマス

○賀屋國務大臣 憲法上ノ解釋ハ重大ナ問題デアリマスカラハツキリ申上ゲマスガ、少シモ變リマセヌ、憲法ニアリマスヤウニ豫算外ノ負擔デアリマスルカラ是ハ議會ノ協賛ヲ經ルノデアリマス、詰リ年々經テ居ツタモノヲ一括シテ御協賛ヲ經ル、是ダケノコトデ少シモ違ヒハナイノデアリマス、今マデハ年々經テ居リマシタケレドモ、考ヘテ見レバ必ズシモ其ノ必要ガナイ、豫メ御協賛ヲ經テ於キマスレバ、憲法上ノ要件ヲ滿タスノデアリマスシ、實際上ノ金額ハ年々軍事實費ノ豫算ノ協賛ガアル時ニ議會トシテハ御審議ニナルノデアリマス、憲法上ノ議論カラ致シマシテモ、實質カラ致シマシテモ、此ノ急ヲ要スル戰時財源トシテ斯ウ云フ處置ニ願ツテ差支ヘナイト存ジマシタ次第デアリマス、此ノ形式ハ隨分アリマスノデ、今年モ道路公債ヲ發行致シマシテ、其ノ豫算ノ審議ハ既ニ濟ンデ居リマスガ、是モ年々金額ノ御協賛ハ經マセヌ、大正九年ノ法律第五十九號ニ依リマシテ「國道改良費支辨又ハ國道、府縣道若ハ市ノ重要街路ノ改良費補助ニ關スル經費支辨ノ爲政府ハ當該經費豫算ノ範圍内ニ於テ公債ヲ發行シ又ハ之ガ繰替支辨ノ爲借入金ヲ爲スコトヲ得」ト云フ規定ガアリマス、九年ニ御協賛ヲ經マシテ法律ニナリマシテ、毎年歲出豫算ノ範圍内デ公債ヲ發行致シテ參ツテ居ルノデアリマス、是ハ通信事業特別會計法ノ擴張改良費財源、鐵道建設改良費財源ニ於キマシテモ同様デアアルノデアリマス、古クハ明治三十八年日露戰爭ノ臨時軍事實費支辨ノ爲ノ借入金、國庫債券ノ發行ニ付キマシテモ年度ヲ限ラズ總括的ノモノモアルヤウナ例モアリマス、又先程申上ゲマシタル鐵道ノ買収ニ致シマシテモ、鐵道ノ買収公

債ノ發行基準ハ豫メ法律ヲ決ツテ居リマシテ、後ハ年々ドノ鐵道ヲ買收スルカト云フコトニ御協賛ヲ經テ居ル次第デリマシテ、年々ノ金額ヲ明示シマセヌコトハ、憲法ニ要求スル國庫ノ負擔トナリマスモノノ御協賛ニ付キマシテノ根本精神ニ毫モ抵觸スルモノデモアリマセヌシ、解釋ヲ毫モ變ヘタ次第デハナイノデアリマス

○松田(正)委員 今申サレマシタ日露戰爭當時デアリマスガ、總高ハ決ツテ居ツタノデハナイカト思ヒマス、ソレハ年度割ハ示シテ居ラナカッタヤウデアリマスガ、總高ハ示シテ居ツタ、ソレカラ各特別會計ノ方デモ年々ノ使用高ハ決ツテ居ラナイシ、ソレハ特別會計デアリマスカラサウ云フヤウニナツテ居ルモノモアルト薄々記憶シテ居リマス、又南方開發金庫券ノ發行ニ付キマシテモ、之ニ對シテハ金額ノ示サレヌ場合ガアルト云フ、ソレデスウ云フヤウナ委員會ニ出サレテ居ル、併シ金額ノ明示サレテ居ルモノモアル、斯ウ云フ風ニナツテ來マスト一般會計デモサウ云フ風ニナリハシマセヌカ、一般會計デモ公債以外ノ歳入ハ目安ガ分ツテ居ル、税ニ於キマシテモ豫定ノ收入ガ決マツテ居ル、其ノ不足ハ公債デアルノデアアル、斯ウ云フノデアレバ一般會計モ何モ此ノ法律デ以テ金高ヲ決メヌデモ宜イヤウニ思ヒマス、ソレヲ決メテ之ヲ決メヌト云フコトニナルト、ドウモ憲法ノ解釋ヲ一様ニナサツテ居ルヤウナコトニ私ハ考ヘルノデス、ソコノ所ガ一般會計デ——臨時軍事費ノコトハチャント分ツテ居ル、三十一億七千万圓ト云フモノガ足りナイ、之ヲ公債ニ依ルノダト云フノデ公債ノ金額ヲ示サレテ居ル、今

大臣ノ御説カラ申シマス、ドレモモ公債ト云フモノハ額ヲ示サナクテモ宜インデハナイカト云フ風ニ思ヘルノデスガ、ソレナラバソレデハツキリト御答辯願ヘレバ結構デアリマス、ソレナキ以上ハ何故斯ウ云フヤウニ二様ニナツテ居ルカト云フコトヲ御説明願ヒタイ

○賀屋國務大臣 金額ヲ示シマセヌデモ憲法上ノ要件ハ十分ニ充足シテ居ルト思ヒマス、一般會計デモ御示シノヤウナ方法ニ公債法ヲ編ミマシテモ是ハ憲法違反デモ何デモアリマセヌ、唯憲法ノ許シマシタ範圍内ニ於ケル政治行政ノ運用ニ付テ考フベキ點ガアルト思フ、是ハ程度ノ差ト申シテモ宜シイカモ知レマセヌ、臨時軍事費ニ付キマシテハ是ハ國家興亡ノ問題デアリマス、御話ノヤウニ議會デモ急速ニ審議シテ之ヲ通過シテ戰爭ニ支障ナカラシムルト云フ御考ヘデアリマス、然ラバ其ノ財源ノ主要ナル公債ニ付キマシテモ同様ナコトガ望マシイノデアリマス、是ガ一般會計ニナリマス、只今デハ一般會計ノ經費ト雖モ此ノ戰爭ヲヤツテ行キマス上ニ於テ皆不可缺ノ經費デハアリマス、併シ臨時軍事費ニ於テハ出來ルダケ増稅ヲシ、又現地等ニ於テ可能ナル範圍ニ於テ調辦致シタ差額ガ、是ハ公債デヤル外仕方ガナイト云フコトハ恐ラク誰ガ考ヘマシテモ他ニ方法ハナイノデアリマスルガ、一般會計ニナリマスルト云フト、アノ歳入補填公債ノ形ト云フモノハ是ハ議論ガアルノデアリマシテ、其ノ儘デ行クノガ宜イカ、或ル時期ニ於テハ考ヘ方ヲ變ヘテ行ク方ガ宜イカ、ソレニ付テモ御説ガアル位ノモノデアリマス、ソコデ私共ハ政治行政上ハ一般會計ニ於テモ御話ノ如ク包括的ニヤ

ルコトハ憲法違反デモ何デモアリマセヌガ、政治上ハ其處マデ行カヌガ宜シイ、歳入補填公債、赤字公債ト云フ行キ方ガ決マリノ已ムヲ得ナイコトデ、何處マデモ行クンダト云フ程、アレヲソレ程立派ノヤリ方ダト考ヘテ行クコトハ是ハ出來ヌト思ヒマス、ソコガ私共ノ意見ノ相違デアリマシテ、是ハ憲法上ノ考ヘ方ガ二様デアルト云ノデハナイ、是ハ全ク一ツデアリマス、從來ト雖モ前申上ガマシタ通信事業帝國鐵道デモ何等最高限ノ金額ヲ現ハシテ居リマセヌ、唯自ラ豫算ニ依ツテソレガ制限サレル、一方赤字公債ハ毎年金額ヲ出シテ居ル、是ハ何モ憲法上二様ニ行キマシテドチラモ違反デハナイノデアリマス、唯ソコガ實質ノ性質論カラ多少ノ區別ハアルガ寧ロ妥當ナリト斯ウ云フ考ヘ方デアリマス

○松田(正)委員 大東亞戰爭ニ付テ戰費ガ要ル、是ハ私ガ申上ゲルマデモナイ、憲法上國債ヲ起スノハ必ズ議會ノ協賛ヲ經ルコトニナツテ居ル、サウスルト前カラ國債ヲ出スノハ一定ノ豫算ガアツテ、一定ノ豫算ニ歳入ノ充タナイ場合、斯ウ云フコトニナツテ初メテ國債ト云フコトニナツテ行クノデアリマス、サウシマス憲法ノ規定ニアル國債ヲ起シト云フコトハ、モウ既ニ此ノ法文ヲ御作リニナル時ニハ、苟クモ金額ノ豫定デモ示サガ宜シイ、金額ノナイ國債ト云フモノハ發行出來得ナイモノデアアル、ト云フノハ今申シマス豫算ノ中ノ歳入不足デアリマスカラ、豫算デヤレナイ、豫算ノ歳入デ償ヘナイ場合トカ、或ハ特ニ國家ガ一ツノ資産ヲ持ツノダ、金ハ今出スケレド、モ、資産ヲ持ツノダト云フヤウナ場合トカ、何カソコニ一ツノ標準ガナケレバ國債ヲ發

行スル期ハ熟シマセヌ、兎ニ角モ是ハモノノ大小ノ差コソアレ、一ツノ會計ニ於テ山ヲ買フト申シマシテモ、其ノ一ツノ會計デ山ヲ買フダケノ金ガナイノダ、サウスルト借金デ行カナケレバナラヌノダ、一體幾ラ借金デ行ケバ宜イノカ、此ノ山ノ價格ハ是ダケデ、資産ハ是ダケデ、サウスルト是ダケ借金デ行カウデヤナイカ、是ガ所謂本筋ノ行キ方デヤナイカ、憲法ニ國債ヲ起シト云フコトハ額ノ決マラヌ國債ヲ謳ウテ居ル精神ガ織込マレテ居ルカドウカ、此ノ點ニナリマスルト、私ハ憲法ノ所謂國債ヲ起シト云フコトハ、額ガ分ツテ居ル場合ノコトヲ指スノデアツテ、唯額ノ分ラナイ場合ドレダケ國債ヲ發行シテモ構ハヌト云フヤウナ、ソナ場合ニハ、恐ラク茲ニ明文ニ謳ハレテ居ル如ク、國債ヲ起ス場合ニハ議會ノ協賛ヲ經ベシト云フコト、及ビ政府ノ詮衡ニ委スコトガイカヌト書イテアル、ソレハ憲政上ノ美果デアルト云フコトニ書イテアリマス、時代ハ移リ變ツテ居リマスカラ、此ノ文字通りトハ申シマセヌケレドモ、是カラ察シマスルト、憲政上茲ニ國債ヲ起シト云フコトハ金額ノ決マツタ、所謂不足ニナツタ豫算ノ歳入デ償ヘヌモノヲ指スノデアツテ、額ノ分ラヌモノヲ唯政府ガ發行スルコトハ出來ルト云フコトニナルト、議會ノ協賛ヲ經ヨト云フ必要ガ餘リナイノデヤナイカ、今凡ユル事務ガ簡素化ヲ唱ヘラレテ居ル時デアリマスルカラ、簡素化デアルコトハ洵ニ結構デアリマス、複雑ナル手續ハ成ベク執ラナイガ宜イ時代トナツテ居リマスルガ、併シ斯ウ云フ風ナ明文ガアツテ、今マデハ年々ヤツテ居ツタ、今年モ尙ホ一般會計デ赤字ヲ斯ウ出シテ居ル、此ノ分ニ限ツテ白紙

ノ委任狀ヲヤウニシテ法律ニ變ヘルコトハ、
憲法ノ解釋ガドツチデヤウテモ宜イノダト
言ハレマスレバ、ドツチカ一方ニ決メタラ
ドウデスカ、複雑ニ是ヲ斯ウヤル、是ハ斯
ウヤルト云フヤリ方デ、二ツニセズモ宜
イ譯デヤナイデスカ、國債ノ發行ト云ウテ
居リナガラ、國債ノ金額ヲ明示サレテ居ラ
ナイ、憲法ノ法文カラ言ヘバサウデアル、
成程文字解釋ヲ致シマスレバ、ソレニハ金
額ト云フコトヲ現ハシテ居ラナイ、現ハシ
テ居リマセヌケレドモ、今申シマスル如ク、
國債ナルモノヲ發行シナケレバナラスコト
ニ迫ラレタ時ニハ、金額ハモウ既ニ分ツテ
居ナケレバ發行出來ルモノデハアリマセヌ、
ソレデ一般會計モヤウテモ宜イト云フ議論
ガアルト申サレマスガ、ソレナラバ一般會
計モオヤリニナルカ、斯ウ云フ風ニ一ツノ
コトヲ事務ノ簡素化カラ言ウタナラバコチ
ラデヤウテ居ルガ、コチラハヤウテ居ラス
ト云フコトヲナゼオヤリニナルカ、是ハ私
バ一方ニスベキダト思フガ、是ハ出來ルト
云フナラバ、ハウキリト明年カラスルナラ
スルト云フコトヲ御答ヘ願ヒタイ

○賀屋國務大臣 或ハ私ノ誤解カモ知レマ
セヌガ、只今ノハ本案ニ依リマシテ或ハ無
制限ニ公債ヲ發行スルゾデアルト云フ風ナ
御解釋ノヤウニモ伺ヒマシタガ、是ハ御讀ミ
ニナルト決シテサウデハナイ、歲出ノ豫算
額カラ普通歲入ヲ引イタモノトチヤント限
度ガ示シテアリマス、ソレハ限度ガナイノ
ト、何圓ト云フコトガ分ル限度ガ書イテア
ルカノ差異ダケデアリマス、是ハ過去ノ法
律ヲ御覽ニナリマシテモ、又現在生キテ居
ル法律、今ノ道路ニ於キマシテモ、鐵道ニ
於キマシテモ通信事業、擴張改良費、或ハ

道路ノ豫算額デアルトカ、自ラソコニ限度
ガ決マルモノガアリマシテ、而モ金額ハ事前
ニ何圓ト云フモノヲ出シテ居ル、是ト同ジ
デアリマス、ソレハ純形式論ハ無制限ニ發行
スルコトヲ議會ガ協賛サレレバ、憲法ハ無
制限ニ發行スルコトヲ許可レマセウガ、是
ハ事柄ノ妥當性、是非ノ問題デアリマス、
ソコニ行ケバ御話ノヤウニ、公債ヲ發行ス
ルノニ何億圓出スノカ、何百億圓出スノカ
全ク分ラナイト云フコトハ、是ハ餘リ妥當
デハナト思ヒマス、併シ今ハ分ラナイガ、
先へ行ツテ臨時軍事費ノ如ク自ラ分ル方法
ガアル、而モ議會ノ御協賛ヲ經テ決マルノ
デアリマス、サウ云フコトニナレバ是ハ限
度ガアルノデアリマス、妥當性カラ申シマ
シテモ、先例モアリマスシ、私ハ然ルベキ
モノデアルト思ヒマス、唯私共ハ色々注意
シテ參リタイト思ヒマスカラ、憲法ガ許シ
マシタ範圍内ニ於キマシテモ、今ノ赤字公
債ノヤウモノハ、是ハ、便利カラ申上ゲ
レバ、毎年歲入ノ不足ハ赤字公債デヤウテ
宜シイ、御協賛下サレバ甚ダ便利デアリマ
スガ、ソコマデ進シテ議會ノ協賛ヲ求メマ
ス程ニハ、私共ノ考ヘハマダ熟シマセヌ、
前ニ申上ゲマシタヤウニ、赤字公債ト云フ
モノハ是ハ普通ノ行キ方デハナイ、戰時ダ
カラ宜イノカモ知レマセヌガ、戰費ノ公債
程マダ考ヘガ熟サヌ所ガアリマスノデ、只
今御指摘ノ明年カラ必ズ金額ヲ示セトカド
ウトカ云フコトニ對シテ、サウ致シマス
云フコトヲ申上ゲ得ルマデニハマダ至ツテ
居リマセヌ、度々繰返シテ申上ゲマシヤウ
ニ、限度ノナイ御協賛ト云フモノモ法律論
デハアリマシテモ違法デハナイト思ヒマス
ガ、精神論カラ云ヘバ私ハ限度ガアル、或

ハ限度ガ明瞭ニ分ラナイデモ、事態カラシ
テ此ノ位デアルカラ議會ハ協賛ヲシヨウ、
斯ウ云フ考ヘデ出來ルト思ヒマスガ、今回
ハ明カニ限界ハ示シテアル通りデアリマス、
其ノ點カラ申シマシテモ、必ズ今年豫算
ノ御協賛ヲ經マシテ、公債百七十一億、借入
金三十三億圓アル以上ハ發行ハ出來マセヌ
譯デアリマス、將來モ亦追加豫算ガ成立致
シマシタ後デナイト、其ノ金額以上ニハ出
セナイコトニナル譯デアリマス、是ハ憲法
上ノ精神カラ申シマシテモ差支ヘナイコト
ト存ジテ居リマス

見越シテ、例ヘバ來月ニナレバ、税金モ入
ツテ來ルカラ返シ得ラレルヤウニ思フ、本
月一寸足ラヌカラト言ウテ一時借りヲスル
金高デモ限度ハチヤント決メテ居ラレル、
或ハ南方開發ノ補償ノ如キハ、金額ヲ現ハ
スコトガ或ハ出來ナイ事情ガアル爲ニ、政
府ハ南方開發金庫ガ同金庫券ノ發行ニ依リ
負擔スベキ債務ニ關シテ之ヲ補償スルコトヲ
得ト云フノデ、此處ニ金高ヲ示シテ居リマ
セヌ、或ハ此ノ金高ガ示シ得ラレナイ部分
モソレハアルカモ知レマセヌガ、是モ今申
シマスル會計法ノ六條ノアシナコトデモア
ア云フ風ニ、此處ニ出テ居リマス、ソレ
カラ會計法ノ十一條ノ金額ノ如キ、翌年ニ
互ル豫算外ノ契約ヲナスコトヲ得ト云フノ
モ、議會ノ協賛ヲ經ルノニハ金額ヲ示スト
カ書イテアル「前項ノ規定ニ依リ翌年度ニ互
ル契約ヲ爲スコトヲ得ヘキ金額ハ毎年度帝
國議會ノ協賛ヲ經テ之ヲ定ム」ト書イテアル、
コンザノハホシノ一時一寸借りルダケノモ
ノデスカ、ソレデモ豫定額ハチヤント示シ
テアル、臨時軍事費ハ左程大キイコトモア
リマセヌケレドモ、二百七十億圓、之ニ對
スル公債ガドレダケ要ルノカ、豫算ノ上デ
ハ決マツテ居ル、ドウ考ヘテ見マシテモ、ハ
ツキリ分ツテ居ルコトヲ此ノ文面デ繰入金
ヲ差引イタ殘リヲ公債ヲ發行スルコトガ出
來ルト云フヤウナ分ラヌゴトガ、今ノ南
方開發ノヤウナコトナラ別デアリマスケレ
ドモ、是ハ南方開發ノ補償ト意味ガ大分違
ツテ居ル、ソレデ此ノ豫算ヲ實行スルニハ、
ヤハリ金額ヲ示シテ總公債發行高ガ幾ラニ
ナリ、國民ノ實力ガ幾ラアル、ソコデ之ヲ
吸收シ、消化スルコトニ議會ト協調シテ審
議シテ行クト云フコトガ本筋デハナイカ、

○松田(正)委員 大臣ノ仰シヤルヤウナコ
トハ先程申上ゲタ譯デアリマス、豫算ノ上デ
ハ公債ガ幾ラ、準備金ガ幾ラ、借入金ガ幾
ラト分ツテ居ル、ソレデ戰時下デアルカラ
シテ公債ノ限度ガコデ分ラヌ、ドレダケ使
ハレルカ分ラヌノダカラト云フナラ此ノ法
律ノ意味ヲナス、分ツタモノヲ此ノ法律デ
變ヘテ行カウド云フノダカラソレガ分ラヌ
ト先程申上ゲタ、ソレデ一般會計ノ方ハソ
コマデ事態ハ逼迫シテ居ラスト申シマスケ
レドモ、九十九億圓ト云フ此ノ一般會計ハ
戰時下ノ事態ニ即應スルガ爲ノ大部分ノ豫
算デアツテ、戰フ爲ノ種々ナル部門ノ經費
ガ犬體九十九億圓ニナツテ居ルコトハ大臣
モ能ク御承知デアリマセウ、サウシマスル
ト、分ツテ居ルモノヲ特ニ此ノ法律デ額ヲ
示サズニヤウテ行ケルト云フノナラ此ノ法
律ハ御出シニナル必要ガナイヤウニ思ヒマ
スガ、會計法六條ニ規定ヲシテ居リマスル、
政府ガ日本銀行カラ借入レバ場合、是ハ一年
ノ間ニ借りテ一年ノ間ニ、會計年度ニ返ス、
其ノ場合デモ金額ハ示シテ居ルデハナイデ
スカ、ソレ等ノ如キハ政府モ一ツノ收入ヲ

第六類第二號 昭和十八年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案外九件委員會議錄 第八回 昭和十八年二月十五日

七五

憲法ノ解釋ヲ別ニシテ考ヘテモ、サウナラナケレバナリナインデアリマス、大臣モ大分御忙シイヤウデアリマスガ、此ノ會計法六條、十一條ノヤウナモノデモ斯ウナツテ、金額ヲ示セト云フコトニナツテ居ルカラ示シテ居ルノデアリマス、是ハ國債ヲ發行スルコトニナツテモ金高ヲ示シテ居ラス、金高ヲ示シテ居ラスカラ幾ラデモ發行出來ルノ

ルト、是ハ白紙委任狀ノヤウナモノデアアルト見ラレルダケニ、此ノ質問ヲ致シテ居ルノデアリマス

○賀屋國務大臣 一寸申上ゲマスガ、私ノ申上ゲタコトヲ一寸御聽キニナリ方違ッ

テ居ハシナイカト思ヒマス、一般會計ハ窮迫シテ居ラスト申シタノデアリマセス、赤字公債ト云フヤリ方ト云フモノハ、確定シタヤリ方デアアルトマデ云フ良イ方法デナイノデアアルカラ、將來モ常ニ歳入ノ不足ハ赤字公債ヲ出シテ宜シイト云フ其ノ一括シタ御協賛マデモ今得ル程ノ考ヘハナイト云フコトヲ申上ゲテ居ルノデアリマス、國家ノ歳入ノ入ル度ハ別ニ窮迫デハアリマセ

スガ、特別會計モ一般會計モ同じデアリマスガ、又金額ガ分ツテ居ルノデハナイカト云フ仰セデアリマス、本年度ハ分ツテ居リマスガ、將來ハ其ノ年ノ豫算決マル譯デアリマスカラ、今ハ分ツテ居リマセス、只今御協賛ヲ經レバ今後ハ公債法ヲ出シマセ

スデ、臨時軍事費ノ公債財源ガ出來ル譯ニナルノデアリマス、只今マデハ分ツテ居リマセス、而モ將來ハ、前カラ申上ゲマスルヤウニ、豫算ノ御協賛ニ依ツテ金額モ明カニ分ル位デアリマス、總テ平時ノ道路トカ鐵道トカ通信トカノモノガアリマスルト同じ程度ノコトデ、況ヤ今日戰爭ノ非常ノ際デモアリマスルカラ提案ヲ致シタ次第デアリマス、何卒左様ニ御諒承ヲ願ヒタイト存ズルノデゴザイマス

○松田(正)委員 今大臣ノ御説明ヲ承ハリマシテ、大體政府ノ肚モ分リマシタガ、併シマダ將來ノ法律上ノ解釋ニ付テ大分研究ヲ要スル事項ガアルト思ヒマス、實ハ私ハ昨日日曜デアリマシテ、此ノ委員會ニ掛ツ

テ居ル案ノ内容ハドウデアアルカト色々調べタ所ガ、斯ウ云フヤウニ疑問ガ大イニ起キタノデアリマス、マダ今朝カラモ調べテ居

ツタノデスガ、時間ガナカクモノデスカラ、取調ガバラ／＼デ……斯ウ云フヤウニ紙切ニ書イタモノダケガバラ／＼ニナツテ居デ、纏マツテ居ナイノデス、ソレデ後日ニ質問ヲ留保スルコトヲ御許シ願ヘマセヌデセウカ、ソレトモ今日ハ大臣ニ對スル質問ハ全部ヤツテシマヘト云フ御意見ナラバ、私ノ調べテ來タコトヲ結び合セテ質問ヲ申上ゲナケレバナラヌノデスガ、委員長ノ御意見ハドウデスカ

○矢野委員長 松田君ニ申上ゲマスガ、是ハ憲法第六十二條及ビ憲法第六十四條ニ關聯スル重大ナル法律案デアアルト解釋致シテ居リマス、デアリマスルノデ後世ニ遺ス爲ニ政府ノ處置及ビ議會ノ態度ヲ此ノ際ハツキリシテ置ク必要ガアルト思ヒマス、隨テ此ノ根本問題ニ付テハ十分ニ審議ヲシタイト存ズルノデアリマスガ、松田君ノ御質問ハ今日續行スルノニ不都合カラ明日ニ延バスト云フノデスカ

○松田(正)委員 斯ウ云フヤウニ研究シタ紙ガチラバラニナツテ居リマシテ、マダ纏マツテ居リマセヌ、コンナ風ニナツテ居リマス、之ヲ一ツ組立テ來ナケレバ一貫シタ質問ヲ致スコトガ出來マセヌノデ、若シ大臣ニ對スル質問ヲ留保サシテ貰ヘマシレバ結構デアリマスシ、今日ヤツテシマヘ、留保ハ困ルト云フ委員長ノ御話デアリマスレバ、コンナモノデモ……

○南委員 我ハ憲法違反ノ問題ニ付キマシテ、幸ヒニ森山法制局長官モ御出デ願ツタノデアリマスカラ、大藏大臣ト共ニ、篤ト吾々ノ了解ガ出來ル御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス、只今マデノ御問答ヲ拜聽致シマスハ、マルデ問題外レノヤウナ御答辯シカ承ハルコトガ出來ナイノデアリマス、一體憲法第六十二條ト六十四條ト別ニアルト云フコトヲ御忘レニナツテ居ル、六十二條ハ國債ヲ起ス場合ニ於テ帝國議會ノ協賛ヲ經ベシト云フコトガハツキリ獨立ニアル、又六十四條ハ「國家ノ歳出歳入ハ毎年豫算ヲ以テ帝國議會ノ協賛ヲ經ベシ」豫算ノ協賛ト云フモノハ別ノ條文ニハツキリアル、事柄自體ガ全然違フカラデアリマス、豫算ト云フモノハ、歳出歳入ノ見積リナンドス、斯ウ云フ風ニヤラウト思フガドウデスカト云フノト同じデス、サアソレモ宜カラウト云フノガ即チ豫算ノ協賛デス、皆テ之ヲ實行スルニ付テ金ガ足ラヌ、豫算ニモ見積リシテアルガ、其ノ金ヲ愈々出シタイガドウダ、イヤサツキアア言ウタケレドモ、ドウモ借金ヲシ過ギルゾト言ヘバ或ハ其ノ時ニ削ラレコトガナイトモ限ラヌ、是ハ理窟デアリマスガ……、兎ニ角金ヲ借りルカ借リヌカト云フ問題ト、金ノ出シ入レノ見積リヲスルト云フコトハ全然別箇ノコトデス、之ヲ混同シテ居ルカラシテ大藏大臣ノ先程ノ曖昧ナ御答辯ガ出テ來ルノデス、私ハ此ノ際ニ憲法第九條ヲ考ヘテ見タイ、第九條ハ法律ニ關スルコトデアリマス、所謂法律ヲ執行スル爲ニ命令ヲ發スルコトガ出來ル、「命令ヲ發シ又ハ發セシム」ト云フ條文ガア

ル、即チ執行命令デアル、此ノ執行命令ニ付テハ既ニ總動員法デモ問題ニナツタヤウデアリマスガ、併シ如何ニ大キナ内容ヲ持ツテ居リマシテモ、法律ノ點ニ付キマシテハ、法律ガ其ノ内容トシテ之ヲ執行スル所ノ命令ヲ發スルコトヲ認メタ以上ハ憲法上ハ違法デハアリマセヌ、政治上、事實上ノ關係ニ於テ適當ヲ缺クカドウカト云フコトハ是ハ別問題デアルガ、法律上ノ問題トシテハ形式上ハ總動員法ト云フモノハ決シテ違憲デハアリマセヌ、併シナガラ今日議題ニナツテ居ル所ノ本件ニ付キマシテハ、是ハ明カニ憲法違反デス、ト云フノハ豫算ハ執行命令ト云フヤウナサウ云フ性質ヲ持ツテ居ルモノデハナイ、豫算ハ法律ガアルカラ、法律ニ基イテノ執行命令デ豫算ヲ出スノダ、サウ云フヤウナ關係ハ一ツモナイノデス、隨テ假ニ斯ウ云フ法律ガ出來テ、此ノ法律ガ假ニ通ツタト致シマシテモ、サウシテ憲法第六十二條ノ協賛ヲ免ルルト云フコトニ假ニナツタト致シマシテモ、是ハ憲法上無効ダト思フ、若シ斯ウ云フコトヲ許スモノトスレバ、斯ウ云フ法律ニ依ツテ豫算サハ作レバ其ノ豫算ノ内容ニ見積ツテアル公債ハ勝手ニ出セルト云フヤウナコトガ許サレルモノトスレバ、先程問題ニナツタ一般會計ニ於ケル赤字公債モ同ジコトデス、苟モ豫算デ足ラヌ所ガアツタラ公債ヲ賄フコトガ出來ルト、斯ウ云フ法律ガ出來レバ一本デヤレル、赤字公債ガ宜イカ悪イカハ別問題、併シドウアラウト法理ハ一貫スルノデアリマス、所ガ若シサウ云フ赤字公債モ宜イコト云フコトニナレバ、イツソノコト簡單ニ豫算モ宜イデハナイカ、豫算モ政府ニ任シテシマツテ政府ガ勝手ニ毎年適當

ナ見積リヲシテヤツタラ宜シイ、サウ云フコトヲ内容トスル法律ヲ作ツタラドウデス、サウ云フ法律ガ出來タラ豫算ハ政府ノ勝手デ議會ノ協賛ヲ要シナイ、サウ云フコトニナツテ來レバ結局議會ハ要ラヌト云フコトニナル、是ハ最モ重大ナ内容ヲ包藏シテ居ル法律案デアルト私ハ考ヘル、ソレヲ先程大藏大臣ハ、毎年豫算ガ直グ通過シ、臨時軍事費モ直グ通過シ、公債ノ發行ニ關スル法律モ直グ通過スルノダカラ宜イデハナイカ、其ノ手續ヲ略シタ方ガ宜イデハナイカト云フ御考ヘノヤウニ見エマシタガ、早ク通ル、簡單ニ通ルト云フコトガ宜イノナラバ、臨時軍事費ノ豫算ガサウデス、何モ十分ナ審議ヲ盡ス暇ハナシ、モウ政府ヲ信賴シ、軍部ヲ信賴シテ一刻ヲ爭ウテ豫算ヲ通シテ居ル、ソナ早ク通ルヤウナ豫算ナラバ、豫算ハ議會ノ協賛ヲ經ナイデモ宜イ、戰サニ要スル經費ハ一本ニシテ政府ガ勝手ニ作ツタラ宜シイ、斯ウ云フ法律ニシタラドウカ、斯ウ云フ理窟モ成立ツノデアリマス、ソレナラ一歩進ンデ、先程申シマシタヤウニ、一般豫算デモ豫算ナド作ラヌデモ宜シイ、モウ政府ニ任シテ置ケバ宜シイノダト云フ結論ニナル、是ハ由々シキ大事デアル、議會ヲ否認スルト云フ結論ニナルノデアリマスカラ、單ニ憲法第六十二條ヲ庇理窟デ以テ解釋シテハイケナイ、即チ議會ノ協賛ヲ經ヘシト云フコトハ内容ガナケレバナラヌ、抽象的ナコトデ公債ヲ發行出來ルト云フ、具體的ニ内容ノナイモノヲ協賛ヲ經ルト云フコトハ協賛ニナラヌ、少クトモ確定シ得ベキ基礎、例ヘバ鐵道ノ買収ニ付テ公債ヲ發行スルト云フナラバ、計算ノ基礎ガアル、計算ノ基礎ガアレバ其ノ數額ハ確

定シ得ベキモノデアル、具體的ノ内容ガアツテコソ協賛スル價值ガアル、即チ憲法第六十二條ハ協賛ノ義務ヲ 陛下ノ議會ニ課シテ居ル、陛下ノ議會トシテ吾々ガ職責ヲ全ウスル爲ニハ、陛下ノ執行機關デアル政府ノヤリ方ヲ 陛下ノ議會トシテ監視シナケレバナラヌ、今日ノ問題ハ實際問題トシテ、善惡ノ問題デモナク、官吏ノ眼ヲ光ラヌト云フ、サウ云フヤカマシイ問題デモアリマセヌケレドモ、理論ノ上ニ於テ、憲法上ニ於テ是ハ重大ナ問題デアルト確信スルノデアリマス、斯ウ云フコトヲ唯事務的ニ都合ガ好イカラト云ツテ簡單ニ濟マスト云フノデアレバ、議會ハ要リマセヌ、ソレハ實際恐ルベキ結果ニナリマス、ダカラサウ云フ弊ニ墮セヌ爲ニ、會計法スラモ先程御引用ニナツタ六條ニ、ヤハリ借入金ヲスルノデモ其ノ年度ノ最高限度ヲ決メト言ツテ居ル、即チ會計法ノ第六條第三項ニハ「大藏省證券及借入金ノ最高額ハ毎年度帝國議會ノ協賛ヲ經テ之ヲ定ム」、即チ帝國議會ヲ尊重シテ此ノ法律ガ出來テ居ル、況ヤ此ノ法律ハ憲法ノ下ニアルノダカラ、是ハ改正ハ出來ヌデアリマセウガ、此ノ法律ヲモ改正シヨウト云フ御趣旨デアリマセウ、本日御提案ニナツタ法律案ハ帝國議會ヲ無視シ、結局專制政治ニ還ラウト云フ一段階デアルト考ヘラレテモ仕方ノナイ御改正デアルト思フ、一君萬民ノ政治ハ即チ民ノ心ヲ以テ 上御一人ガ御裁納ニナツテ、ソコデ初メテ歸一ノ關係ガ明カニナルノデアリマス、餘所ノ國ノヤウニ個人主義ガイカヌカラ全體主義ト云フ風ニ勝手ニ極端カラ極端ニ馳セテ、即チ差別觀念デアル個人主義ノ變形デアル全體主義ヲ眞似テ國家ノ權力ヲ増大スレバソレデ足レリト云フ

ヤウナ思想ガマダ横行シテ居ルヤウデアリマスガ、サウ云フ國體ニ反スルモノヲ今日議會人ハ 陛下ノ爲ニ 陛下ノ議會トシテ打破ラナケレバナラヌト思ヒマス、固ヨリ大藏當局ハサウ云フ深イ御考ヘヲ以テ御提案ニナツタモノデナイコトハ私ハ確信致シマス、決シテサウ云フ意味ニ於テ非難スルノヂヤアリマセヌガ、結果ニ於テサウ云フ結論ヲ生ミ出スヤウナ御提案ハ希クハ引ツ込メテ戴キタイ、サウシテ從來通りヤハリ金額ヲ決メテ具體的ニ議會ノ協賛ヲ經ラレルト云フ形式ヲ 紙一枚書クコトハ御面倒デアリマセウガ、豫算ノ審議ト共ニ、此ノ公債發行ノ件ニ付テ協賛ヲ求メラレルト云フコトモ、或ル意味ニ於テ御面倒カモ知レマセヌガ、是ハ 陛下ノ御聖慮ニ依ツテ御作リニナツタ憲法ニ基クモノデアリマスカラ、憲法ヲ尊重スル意味ニ於テ是非此ノ改正案ヲ御引ツ込メニナツテ戴キタイト云フコトヲ切望スルト共ニ、此ノ憲法上ノ見解ニ對シテ大藏大臣及ビ森山長官ノ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○賀屋國務大臣 只今ハ御質問カ御意見ガ存ジマセヌガ、憲法違反、議會否認ナドノ考ヘハ私ハ毫モアリマセヌ、憲法上ノ見解ハ明瞭ニ申上ゲテ置キマス、憲法第六十二條ニ依リ御協賛ヲ願ツテ居ルノデアリマス、六十四條ハ豫算ノ協賛デアリマス、私ハ六十四條デ以テ公債ノ發行權ヲ得ルナント云フコトハ一言モ申シタコトハアリマセヌ、六十四條デ豫算額ガ決レバ自ラ發行限度モ決マルデセウト云フコトヲ申上ゲタノデ、六十四條ト六十二條ヲ混同スルコトハ毫モアリマセヌ、政府ノ會計ヲ扱ツテ居ル私ハ斷ジテサウ云フコトハアリマセヌ、現ニ何

度モ申上ゲマシタヤウニ既ニ過去ノ議會ニ於テ度々御協賛ニナツテ居リマス、御同様ノ趣旨ヲ鐵道ニ於キマシテモ亦通信事業ニ於キマシテモ、道路ニ於キマシテモ決シテ議會ヲ無視スルト云フコトハナイノデアリマス、平時デモ協賛ニナツテ居ルト同ジコトヲ御協賛ヲ願フテ居ル次第デアリマス、議會ヲ無視スルトカ、專制政治ヲ行フトカ左様ナ考ヘハ、恐ラク大藏當局ハナイガラウト仰セニナリマシタガ、其ノ通りデアリマス、私ハ——政府ハ此ノ提案ヲ別ニ引ツ込メルヤウナコトハ毫モ考ヘテ居リマセヌ

○森山政府委員 今回提案ノ昭和十二年法律第八十四號中改正法律案ハ憲法ニ違反スル提案デナイト云フコトヲ此處デ言明ヲ致シマス、色々ノ點デ御所見ハ伺ツタノデアリマスガ、一々此處デ私ノ意見ヲ申上ゲルノハ其ノ時ヲ得ナイト思ヒマスシ、又必要ガアレバ申上ゲテ宜イト思ヒマスガ、憲法ノ違反ハ全然ナイト思ヒマス

○南委員 憲法ニ反スルト云フ見解ヲ私ハ取ルノデアリマスガ、反シナイト云フ御見解ヲ御説明願ヒタイ、私ハ第六十二條ニ基ク協賛ハ具體的ニ其ノ内容ノアルモノノ協賛ヲ求ムベキモノデアルト云フコトヲ確信スルノデアリマス、唯將來何カ出テ來たら、出テ來タモノニ必要ナ額ハ幾ラデモ宜シイ、サウ云フ包括的ナ白紙委任的協賛ハ斷ジテ協賛デハナイト思ツテ居リマス、具體的ニ内容ヲ持ツタモノニ付テノ協賛ヲ求ムベキ義務ガアルト思フ、ソレニ對シテ法理上ノ見解ニ付テ法制局長官ノ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○森山政府委員 今度ノ法律案ハ金額ガ何百万、何十億ト云フ數字ヲ現ハシテ居リマセ

ヌガ、此ノ規定カラドレダケノ公債ヲ發行スルカト云フコトハ明瞭ニ現ハレテ居ルダラウト思ヒマス、其ノ現ハシ方ハ別ニ議會ノ協賛ヲ經テ豫算ヲ借リテ現ハシテ居リマスケレドモ、金額ハ之ニ依ツテ明瞭ニ現ハレテ居ルト思ヒマス、マルギリ分ラヌ金額ニ付テ公債發行ヲナシ得ルト云フコトヲ決メルモノデハナイ、金額ガ分ラヌト云フヤウナ例ガアルカト言ハレバソレハナイコトハアリマセヌ、澤山アリマス、一例ヲ申シマスレバ、交付公債ト云フノハ金額ハ決ラナイ、私モハツキリ覺エテ居リマセヌガ、震災ノ時ニ何カ補償スル場合ニ公債ヲ渡セ、其ノ必要ナ限度ニ於テハ公債ヲ發行シテ宜シイト云フコトモアツタト思ヒマス、ソレカラ大東亞戰爭ニ關スル特別資金バ公債デ交付スルト云フコトニナルノデアリマスガ、是ハヤハリ金額ハ分ラナイノデ、之ニ必要ナ額ヲ限度トシテ公債ヲ發行スルコトヲ得ト云フコトニナツテ、是ハ金額ガ出テ居ナイ、必要ダケ發行出來ルト云フコトニナツテ居リマス、是ハ自然ニドノ程度ト云フコトハ色々ナ方面カラ分ツテ來ルノデ、斯ウ云フコトデ憲法六十二條ノ協賛ヲ經タモノ、斯ウ云フ風ニナルダラウト思ヒマス、今度ノ法律案ハ帝國議會ガ協賛ニナル豫算カラ當然分ツテ來ルノデ、是ハ寧ロ金額ヲ書イタコトト同ジコトデヤナイカト思ヒマス、唯金額ヲ書イタ方ガ宜イデハナイカトカ何トカ云フ論ハ、是ハ一ツノ妥當論ト申シマスカ、一ツノ立法ノ仕方ノ問題デアリマスカラ、是ハ色々御意見ガアラウト思ヒマススケレドモ、此ノ點ニ於テマルツキリ白紙委任狀ト云フ風ナモノデハナイト私ハ存ジマス、而モ先程法律トカ何トカ色

色御意見ガアリマシタガ、此ノ憲法六十二條ノ協賛ト云フモノハ、必ズシモ法律ニ依ル必要ハナイノデ、形ハドシナ形ヲ取ツテモ宜シイノデ、會計法ノ六條ナドモ結局法律決メナクテモ宜イノデハナイカ、起債ト云フモノハ必ズシモ法律決メル必要ハナイガ、色々ナ點デ今マデハ法律決メテ居リマススケレドモ、他ノ形式ヲ取ツテモ決シテ憲法違反デハナイト思ヒマス、突如御質問ニナツタノデ私ハ今準備シテ來テ居リマセヌノデ、或ハ準備シテ來テカラ御答辯シテモ宜シウゴザイマス、今大藏省ノ材料ヲ借りテ私ノ頭ニアルモノヲ申上ゲテ居ルノデアリマスガ、マダ他ニモ色々アルト思ヒマス

○南委員 私ハ善イ惡イト云フコトヲ問題ニシテ居ルノデハナイ、憲法上違反デハナイカト云フコトヲ明カニシテ戴キタイノデ、其ノ點ニ付テノ疑問ヲ持ツテ居ル、今御示シノヤウニ本年度ノ豫算ニ付テハモウ既ニ分ツテ居ル、ハツキリ分ツテ居リマス、併シ本年度デハナイ、過日衆議院ヲ通りマシタ追加豫算ニ付キマシテハ分ツテ居ルノデスケレドモ、是カラ後何ボ出テ來ルカ分ラヌ、其ノ將來ノ追加豫算ト云フモノニ付テハ一ツモ分ツテ居ラヌ、ソレヲ今カラ何ボデモ御出シナサイ、サウ云フ協賛ヲスルト云フコトハ、協賛デハナイト思フ、協賛ト云フモノハ、具體的ニ現ハレテ來テ、其ノ事ニ協賛スルノガ本當ノ協賛デアル、六十四條ニ依ツテ豫算ノ見積リト云フモノガ出來タ、ダカラ金ハ借りテモ宜シイト云フコトハ別ノコトデアル、金ハ何ボ借りテモ宜シイ、豫算ニ見積ツテ來レバ何時デモ借りテモ宜シイ、サウ云フコトハ憲法六十

二條ニハ豫想シテ居ラヌ、其ノ意味デ私ハ違憲ダト言フノデス、ソレヲ許スセラバ、一步進ンデ終ヒニハ總テノモノヲ任シテモ宜シイト云フコトニナル處ガアルカラ、私ハ心配スルノデス、現當局ガサウ云フ考ヘヲ決シテ持ツテ居ラヌト云フノハ無論ノ話デアルガ、唯結果ニ於テ非常ニ恐ルベキコトヲ包藏シテ居ルカラ、特ニ此ノ點ヲ明カニシタイト云フダケノ話ナノデス

○賀屋國務大臣 先程讀ミマシタガモウ一度讀ミマス、之ヲ御聞キ願ヒタイト思ヒマス、道路公債法、大正九年八月十一日法律第五十九號ノ第一條一國道改良費支辨又ハ國道、府縣道若ハ市ノ重要街路ノ改良費補助ニ關スル經費支辨ノ爲政府ハ當該經費豫算ノ範圍内ニ於テ公債ヲ發行シ又ハ之カ繰替支辨ノ爲借入金ヲ爲スコトヲ得——即チ當該豫算ノ範圍内ニ於テアルノデアリマス、是ハ恐ラク大正九年以來今年マデ二十數年ニナリマセウガ、皆毎年ハ實行シテ議會ノ御協賛ヲ經テ居リ、法律モ御協賛ヲ經テ居リマスシ、又ソレデ以テ議會ノ御叱リモシテ進ンデ居リマス、決シテ政府ハ憲法違反ヲヤラウトカ、何トカ云フヤウナ考ヘハ毫モナイノデアリマスカラ、ソレハ能ク御諒解ヲ願ヒタイト思ヒマス、同ジヤウナノガ通信事業特別會計法、是ハ昭和八年四月一日法律第四十一號、是ノ第二條ニ通信事業設備ノ擴張及改良ニ必要ナル金額ハ業務勘定過剩金並ニ電信電話建設寄附及設備負擔金ヲ以テ之ニ充ツ但シ業務勘定過剩金並ニ電信電話建設寄附及設備負擔金不足ノ場合ニ於テハ電信電話設備ノ擴張及改良ニ必要ナル金額ニ付公債ヲ發行シ又ハ借入ヲ爲

スコトヲ得」是モ金額ハアリマセズ、必要ナル金額ニ付テ今ノヤウナ業務勘定過剰金、設備負擔金等ヲ除ケマシタ残リガヤツテ宜シト書イテアリマス、是モソレニ依ツテ年々行ツテ居ル譯デアリマシテ、今回ノ軍事費豫算ノ中デモ、繰入金ト普通財源ヲ除イタ殘額ニ付テナシ得ル、斯ウ云フ風ニ丁度前ノ通信事業ヤ道路デ申上ゲタト同ジヤウナ仕組デアアルノデアリマシテ、私共モ無論其ノ點ヲ考ヘマシテヤリマシタ譯デ、ソレハ決シテ左様ナコトヲ考ヘテ居ルモノデモナク、又是ガ初メテ斯ウ云フ變ツタモノガ出タカラ、大變ナコトデアアルト云フモノデハナイ、マダ外ニモアル譯デアリマスカラ、後デ資料ヲ御目ニ掛ケテモ宜イト思ヒマス、ドウゾ其ノ意味デ御研究願ヒタイト思ヒマス

○南委員 私ハ一般的ノ法理論デ以テ御尋ネシタ譯ナノデ、今日マデ憲法違反ノ法律ガ何ボ出テ居ルカト云フヤウナコトハ知ラナイノデス、デアリマスカラドウ云フ風ナ法律ガ出テ居ルカト云フコトハ、資料ヲ戴イテカラ一ツ研究シテ見タイト思ヒマス、兎ニ角得心ノ行クヤウニシタイト云フダケノ意味ナノデ、賢明ナル大藏當局ヲ疑ツテ居ルト云フヤウナコトハ絕對ニアリマセズ、唯結果ニ於テ禍根ヲ貽スヤウナコトニナツテハ困ルト云フ心配カラ來テ居ルノデス、ソレデ一ツ此ノ點ニ付キマシテハ質問ヲ留保シテ置キタイト思ヒマス

序ニ之ニ關聯シテ借入金ヲナスコトニ付テ一寸伺ツテ置キタイ、借入金ハ先程モ會計法ノ六條ニハ、借入金ハ最高額ヲ決メテ協賛ヲ經ルト云フコトハアリマスガ、憲法上ノ協賛ヲ要スルコト云フ根據ハ、政府ハ何

處ニ求メテ居リマスカ、之ヲ一ツ伺ヒタイルモ御話ガアリマシタ六十二條デゴザイマス、今度ノ今御審議ヲ願ツテ居リマス問題ニナツテ居ル法律ノ根據デ、借入金ヲスル積リデアリマス、アレガ公債及ビ借入金ヲスル根據ニナリマス

○南委員 所ガ憲法六十二條ハ單ニ國債トシテアリマス、「國債ヲ起シ及豫算ニ定メタルモノヲ除ク外國庫ノ負擔ナルヘキ契約ヲ爲スハ帝國議會ノ協賛ヲ經ヘシ」トアル、借入金ト云フモノハ憲法ノ上ニ現ハレテ居ラヌノデスガ、是ハドウ云フ風ナ御見解ヲナサルカ、私ハ國債ト云フ中ニハ公債モ借入金モ包含シタモノデアアルト云フ、實ハ假ニ見解ヲ持ツテ居ルノデスガ、ソレハ大藏省トシテハドウ云フ風ナ御考ヘヲ持ツテ居ラレルカ、ソレヲ確メテ置キタイト思ヒマス

○賀屋國務大臣 借入金ハ御話ノヤウニ實質上國債同様ノモノデアリマス、唯形式ハ違ヒマス、ソレニシマシテモ歳出ハ御協賛ヲ經テ金ヲ出スコトニナルガ、其ノ財源トシテ金ヲ借入レタナラバ將來之ヲ返サナケレバナラヌ、又利子モ拂ハナケレバナラヌ、國庫ノ負擔ト云フモノハドウシテモ殘ル、ソレデ形式上國債ノ中ニ入ラヌデモ、憲法六十二條ノ精神カラ行ケバ、議會ノ協賛ヲ經ナケレバ借入金ヲスルコトハ出來ナイト私ハ考ヘテ居リマス

○南委員 ソレデハ廣ク解釋シテ公債及ビ借入金モ國債ト云フ廣イ觀念ノ中ニ入ルノダ、斯ウ云フ風ニ憲法ノ御解釋ヲ願ツテ居ルト云フ風ニ取ツテ宜シウゴザイマセウカ

調ベテ御返事申上ゲマス、ドウチニシテモ六十二條ヲ本ニシテ協賛ヲ經ナケレバイヤス、斯ウ云フ考ヘデス

○南委員 私ハ其ノ點ニ付キマシテハ尙ホ研究致シマシテ、改メテ御尋ネスルカモ知レマセヌカラ、一ツ留保サシテ戴キタイト思ヒマス、一應是デ此ノ問題ニ對スル質問ハ終リマス

○矢野委員長 南君ニ申上ゲマス、先刻私ガ申述ベマシタ通りノ問題デアリマスノデ、アナタノ大藏大臣ニ對スル質問ノ留保ヲ許シマス

○松田(正)委員 一寸關聯シテ申上ゲマスガ、今法制局長官ヨリ交付公債ノ御話ガアリマシタケレドモ、アレハ他ノ法律ニ依ツテ基準ガ決マツテ居リマス、他ノ法律ニ依ツテ斯ウ云フモノハ斯ウスルト云フコトガ決マツテ居リマス、總體ノ高ハ九億何千万圓ト云フノデソレハ決マツテ居リマス、ソレカラ道路公債等モ、是レノモノニ對シテハ國庫ガ補助スル、或ハ全額國庫ガ補助スルト云フコトハ他ニ法律ガアリマス、今大臣ハ是モヤツテ居ルト仰セラレマシタケレドモ、ソレハ額ヲ決メルコトニ付テ一ツノ法律ガアリマス、他ノ法律ニハソレガ少シモ關係ナクシテ幾ラデモヤレルト云フモノデヤナイ、要ルカラドレダケ取レルト云フモノデヤナイ、例ヘバ通信事務ノ如キモノデモ、電話ノ時ニハ是ダケ個人カラ金ヲ取ルト云フヤウナ規定モアリマスカラ、是トソレトハ一ツニハナラナイ、ソレデ此處デ御尋ネスルノハ、私ハ南方開發會社ノヤウナコトハイカヌカモ知レナイガ、認メルト云フコトヲ申上ゲテ居ル、此處デ之ヲ御尋ネスルコトハ、是ハ他ノ法律ニ關

係ガナイノデ、唯實際要ルダケノ金ヲ豫算デ認メル、豫算デ認メテ收入不足ヲ公債ヲ出スノハ、今マデ此ノ委員會デヤハリ審議ヲ致シテ來タノデアリマス、ソレハ何故カト言ヒマス、ソレニ依ツテ公債ノ高ガ分ツテ、之ヲ消化スルノニ國民貯蓄ハ是ダケデ行カナケレバナラヌトスレバ、此ノ貯蓄方法ヲ一ツ斯ウ變ヘタラドウデアラウ、モウ一ツ之ヲ斯ウ強化シタラドウカト云フコトヲ色々ト政府ニ折衝ヲ致シテ、之ヲ研究シテ決メテ行クノダカラ、何モ此ノ委員會デ額ヲ現ハセヌコトハナイ、ソレハ簡單ニ現ハセルノダカラソレヲ現ハシテ、共ニ研究シテ滑カニ審議シテ行ツタラドウカ、憲法六十二條ノ解釋ニ付テ、今借入金モ同ジコトダト云フ、ソレハ同ジコトデス、國債モ借入金デス、誰ガ借リルノカト云フコト、政府ガ御借リニナルノデハナイ、國民ノ責任ニ於テ借リルノデス、ダカラ歸着スル所ハ、憲法ハ協賛ヲ求メヨト云フコトニナツテ居リマス、交付公債トカ或ハ特別公債ト是トハ一ツニハナラヌノデス、アレハ見積レル場合ガアルケレドモ、他ノ法律ニ於テ是ハ是ダケ補助ヲシテ行キ、是ハ全額補助デ行クト云フノニ付テハ、法律モアレバ又委員會モアツテヤレル、交付公債ノ如キモ基準ヲ決メル機關ト云フモノガ法律デ決マツテ居ル、ソレト是トハ一緒ニナラヌ、税金デモサウデス、今度増稅シタモノハ是ダケ取レルト云フコトハ豫算デアアル、ケレドモソレモ取レルカ取レヌカ分ラヌ、所謂見積リデアアル、是ハ法律ニ依レト云フコトガ書イテアル、法律ニ依レト云フコトヲ憲法ニ明示シテナカッタナラバ、兎ニ角戰費モ高マツテ來タ、不足分ハ増稅デヤレ、尙ホ不

足分ハ公債デヤレ、尙ホ不足分ハ借入レデヤレト云フコトノ法律ヲ御出シニナルカモ知レマセヌ、ソコハ一寸ヤコシイ所デアリマス、増税ヲスルトカ率ヲ變ヘル場合ニハ法律ニ依レト云フコトヲ規定シテアル、ダカラ其ノ法律ヲ御出シニナツテ居ル、多ク法律デ基準ヲ決メテ行クノデス、其ノ基準カラ出テ來ル豫想ト云フモノガ豫算ニ現ハレテ來ルノデスカラ、又レト此ノ公債ヲ起ス時ニハ協賛ヲ經ヨト云フノト一緒ニハナラナイ、交付公債ノ如キモサウデアリマス、道路公債ノ如キモサウデアリマス、遞信省ノ電話サドモサウデアリマス、電話ヲ一本架ケテヤルト云ツテ五百幾圓ヲ吾々カラ取ル、其ノ規定ガアル、ソレニ付テハ實際ノ費用ハドレダケ要ル、實際ノ費用ハ是レ是レ要ルノダカラ是ダケノ費用ヲ取ルノダト云フヤウナ色々ナ規定ガ一方ニアツテハ漏レテ來タモノヲ公債デ出スト云フノト、此處デ言ツテ居ル公債トハ意味ガ違フ出シ得ル金額ハ豫算デナケレバ使ヘヌノデス、其ノ豫算ノ上ニ現ハスト云フ實際ニ不足ト云フモノガ出テ來ルノデスカラ、出テ來ルモノハ、手數ノ上デ申シマス、手數ガ餘計掛ルトカ何トカ云フコトハナイ管デス、ソレナラバ、軍事費ハ別トシテ一般會計ノ歲入不足三十一億七千萬圓ヲ此ノ委員會デ否決シタ場合ニドウナルカ、是ハ通過致シマシタカラ宜シウゴザイマスガ、之ヲ否決シタ場合ニドウナルカ、又之ニ對シテ本會ガ否決シタ場合ニハドウシテ實行サレルカト云フト、ヤハリ憲法上ノ問題ガ起キテ來ル、デスカラ此ノ委員會ハ政府ト膝ヲ交ヘテ、經費モ高マツテ來タ、是ダケ公債ヲ出サナケレバナラス、貯蓄ヲドウシテ行クカ、

増税モヤルシスルカラ國民ノ負擔モ重イ、是ハ普通通ハイカヌカラ何々ヲ強化シテ行カウデヤナイカト、此處デ滑カニ政府ト共ニ檢討ヲ加ヘテ、サウシテ之ヲ認メテ行クト云フ在來ノヤリ方ガ宜イノデヤナイカト云フコトヲ私ハ申上ゲテ居ルノデ、ソコノ所ハ頭カラ斯ウダト云フ譯デハナイノデスガ、私ノ意見ニ對シテ大藏大臣及ビ法制局長官ノ方デ、是ハ無理ダト申サレマス、私ハ是ガ一番今ノ時局ニ相應シイヤリ方デハナイカト思ヒマス

ニナルト云ヘバ、ヤハリ元ニナルモノハ増税トシテ一應御決メテ願ツテ居ル、ソレハサウ云フ牽聯ガアリマス、併シ憲法上公債デヤルカ、借入金デヤルカト云フ問題ハ、ソレガアルカラ残りハ公債デヤルトカ借入金デヤルトカ云フコトデハナイ、是ハヤハリ御協賛ヲ其ノ途デ願ハナケレバナラス、其ノ御協賛ヲ願フ方法ガ違憲デアルカドウカト云フ問題デアリマス、私ハソレハヤハリ道路公債法デモ、憲法ニ合フカ合ハヌカト云フ問題ニナレバ、是モ同ジク御解釋ノ參考ニナルト思ヒマス、實ヲ申シマス、臨時軍事費ヲ通シテ戴イテモ、財源タル公債ガ通ラナケレバソレハ實行ガ出來ナイ、今御話ニナツタヤウニ、一般會計ハ通ツタガ赤字公債ガ通ラナケレバドウナルカ、ソレガ通ラナケレバ赤字公債ダケハ財源ガ不足ニナツテ實行出來ナイ、折角臨時軍事費ヲ御通シ願ヒマシテモ、ドレダケ臨時軍事費ノ財源ノ公債ヲ出シテ宜イノカドウカ分ラヌ、ソコデソレデヤ待テト云フノデハ急速御決定ヲ願ツタ——少シ端のニ申スト甲斐ガナイノデアリマスガ、ソレハ皆サンノ方デ、是ハ國家ノ戰爭ノ爲ニ必要ダカラト云フ御氣持デ御通シ下サツタ譯デアリマス、ソレデ私共ハ赤字公債ト云フ形ガ餘リ良イモノデハナイガ、將來臨時軍事費ノ財源、歲出豫算ヲ協賛シタラ、租税其ノ他ヲ引イタ残りハ幾ラデモ赤字デヤラセテ下サイト云フ程ニマダ申上ゲレナイト云フノハ、ヤハリ議會ノ御審議等ニ對スル妥當性ヲ考ヘ、尊重スルカラコトデアリマス、ソレデ今別ノ意味デ、松田委員ノ御話ニナリマシタヤウニ、ソレデハ斯ウ云フ機會ニドウシテ公債ヲ消化スルカ、其ノ源泉タル貯蓄ノ

問題ニ付キマシテ、色々アレヤ是ヤト御互ヒニ考ヘテ練ツテ巧クヤツテ行キタイト云フコトハ、是ハ私モ全く御同感デアツテ、結構ダト思ヒマス、ソレデ恐ラク只今ノ私共ノ考ヘト致シマスレバ、一般會計赤字公債法ハ、是ハ年々御協賛ヲ願ツテ行クコトニナラウト思ヒマス、其ノ機會ニ於キマシテモ公債全般ノ消化其ノ他ニ付キマシテ、十分ニ御意見モ伺ヒ、私共モ參考ニ致シ、ドンドン適切ナコトヲ實行スルト云フ機會ハアリマスノデ、根本ニ於テ今ノ違憲デアルトカ何トカ云フ考ヘ方、或ハ御審議ノ機會ヲナクシテシマフト云フ風ナコトハ毫モ考ヘテ居ラヌ次第デアリマス、其ノ邊ハ是非御諒解ヲ願ヒタイト思ツテ居リマス、是ハ事務當局ニ於テモヤハリ提出ノ際ニ今ノヤウナ點ヲ研究致シテ行キマシタ、何モ別ニ其ノ意圖ガアル譯デハナイノデアリマス、ソレダケ申上ゲテ置キマス

○賀屋國務大臣 ソレハ松田サンノ御話ハ少シ違ツテ居ルト思ヒマス、今ノ道路デモソレハ補助ハ法律ニ依リマスガ、其ノ補助ノ法律ハ一遍御決メニナツタラ年々開クノデハナイカラ、ソコデソレガ良イトカ惡イトカ云フコトハ、改正ガ出ヌ限リハ審議スル機會ハ一ツモナイ、而モ憲法上ノ問題ハ同ジコトデアリマス、何分ノ一國庫ガ補助スルト云フコトハ決マツテ居リマス、ソレハ租税デヤルノカ、公債デヤルノカ、借入金デヤルノカ、是ハ全く別問題デ、ソレガ決マツテ居ルカラ公債ガ良イトカ惡イトカ云フコトハ、私ハソコカラ出テ來スト思ヒマス、電話デモサウデス、電話設備ノ負擔金ヲ取ル、是ハソレニ對シテ取ルト云フダケノコトデス、ソレデヤ取ツタ餘リガ一體ドウナルカ、是ハ電話モ御承知ノヤウニ市外電話モアリマスレバ、個々ノ加入以外ノ口座モ色々アル、ソレダケ取ツタラ残りハ公債ダト云フヤウナ筋合ハ出テ參リマセヌ、是ハ他ニ電話ノ雜收入モアリマセウ、サウ云フヤウニ言ヘバ、臨時軍事費デモサウデス、増税ノ御審議ヲ願ヒソレデ税金ガ決マル、アトノ雜收入ノ外ハ公債

○松田(正)委員 今ノ大臣ノ御話ハ公債ト云フコトト借入金ト云フコトハ同ジコトダ、是ハ結局同ジコトナノデスガ、憲法ニハ借入金ト書イデナイ、ケレドモ借入金ト云フモノハ公債ト同ジ性質ノモノダト云フノデ、借入金モ六十二條ニ依ツテ、之ヲヤハリ公債ト同様ニ扱ツテ居ル、サウスルト憲法ニ國債ヲ起スト云フコトデ金額ヲ入レテ居ラヌカラ、金額ハヤハリドウデモ宜イノダ、公債ヲ起スト云フコトハ國家的ニ協賛ヲ經テ置ケバソレデ宜イデハナイカ、斯ウ云フ風ニ議會人ハ直グニ考ヘルノデス、ソコガ問題ニナリハセヌカ、ソレデ借入金モ公債ト見テ六十二條デヤツテ居ル、ソレハ結構デス、其ノ通りデス、ソコマデ解釋サレルナラバ、一方ニ國債ヲ起スト書イデアル、

○松田(正)委員 今ノ大臣ノ御話ハ公債ト云フコトト借入金ト云フコトハ同ジコトダ、是ハ結局同ジコトナノデスガ、憲法ニハ借入金ト書イデナイ、ケレドモ借入金ト云フモノハ公債ト同ジ性質ノモノダト云フノデ、借入金モ六十二條ニ依ツテ、之ヲヤハリ公債ト同様ニ扱ツテ居ル、サウスルト憲法ニ國債ヲ起スト云フコトデ金額ヲ入レテ居ラヌカラ、金額ハヤハリドウデモ宜イノダ、公債ヲ起スト云フコトハ國家的ニ協賛ヲ經テ置ケバソレデ宜イデハナイカ、斯ウ云フ風ニ議會人ハ直グニ考ヘルノデス、ソコガ問題ニナリハセヌカ、ソレデ借入金モ公債ト見テ六十二條デヤツテ居ル、ソレハ結構デス、其ノ通りデス、ソコマデ解釋サレルナラバ、一方ニ國債ヲ起スト書イデアル、

○松田(正)委員 今ノ大臣ノ御話ハ公債ト云フコトト借入金ト云フコトハ同ジコトダ、是ハ結局同ジコトナノデスガ、憲法ニハ借入金ト書イデナイ、ケレドモ借入金ト云フモノハ公債ト同ジ性質ノモノダト云フノデ、借入金モ六十二條ニ依ツテ、之ヲヤハリ公債ト同様ニ扱ツテ居ル、サウスルト憲法ニ國債ヲ起スト云フコトデ金額ヲ入レテ居ラヌカラ、金額ハヤハリドウデモ宜イノダ、公債ヲ起スト云フコトハ國家的ニ協賛ヲ經テ置ケバソレデ宜イデハナイカ、斯ウ云フ風ニ議會人ハ直グニ考ヘルノデス、ソコガ問題ニナリハセヌカ、ソレデ借入金モ公債ト見テ六十二條デヤツテ居ル、ソレハ結構デス、其ノ通りデス、ソコマデ解釋サレルナラバ、一方ニ國債ヲ起スト書イデアル、

○松田(正)委員 今ノ大臣ノ御話ハ公債ト云フコトト借入金ト云フコトハ同ジコトダ、是ハ結局同ジコトナノデスガ、憲法ニハ借入金ト書イデナイ、ケレドモ借入金ト云フモノハ公債ト同ジ性質ノモノダト云フノデ、借入金モ六十二條ニ依ツテ、之ヲヤハリ公債ト同様ニ扱ツテ居ル、サウスルト憲法ニ國債ヲ起スト云フコトデ金額ヲ入レテ居ラヌカラ、金額ハヤハリドウデモ宜イノダ、公債ヲ起スト云フコトハ國家的ニ協賛ヲ經テ置ケバソレデ宜イデハナイカ、斯ウ云フ風ニ議會人ハ直グニ考ヘルノデス、ソコガ問題ニナリハセヌカ、ソレデ借入金モ公債ト見テ六十二條デヤツテ居ル、ソレハ結構デス、其ノ通りデス、ソコマデ解釋サレルナラバ、一方ニ國債ヲ起スト書イデアル、

○松田(正)委員 今ノ大臣ノ御話ハ公債ト云フコトト借入金ト云フコトハ同ジコトダ、是ハ結局同ジコトナノデスガ、憲法ニハ借入金ト書イデナイ、ケレドモ借入金ト云フモノハ公債ト同ジ性質ノモノダト云フノデ、借入金モ六十二條ニ依ツテ、之ヲヤハリ公債ト同様ニ扱ツテ居ル、サウスルト憲法ニ國債ヲ起スト云フコトデ金額ヲ入レテ居ラヌカラ、金額ハヤハリドウデモ宜イノダ、公債ヲ起スト云フコトハ國家的ニ協賛ヲ經テ置ケバソレデ宜イデハナイカ、斯ウ云フ風ニ議會人ハ直グニ考ヘルノデス、ソコガ問題ニナリハセヌカ、ソレデ借入金モ公債ト見テ六十二條デヤツテ居ル、ソレハ結構デス、其ノ通りデス、ソコマデ解釋サレルナラバ、一方ニ國債ヲ起スト書イデアル、

○松田(正)委員 今ノ大臣ノ御話ハ公債ト云フコトト借入金ト云フコトハ同ジコトダ、是ハ結局同ジコトナノデスガ、憲法ニハ借入金ト書イデナイ、ケレドモ借入金ト云フモノハ公債ト同ジ性質ノモノダト云フノデ、借入金モ六十二條ニ依ツテ、之ヲヤハリ公債ト同様ニ扱ツテ居ル、サウスルト憲法ニ國債ヲ起スト云フコトデ金額ヲ入レテ居ラヌカラ、金額ハヤハリドウデモ宜イノダ、公債ヲ起スト云フコトハ國家的ニ協賛ヲ經テ置ケバソレデ宜イデハナイカ、斯ウ云フ風ニ議會人ハ直グニ考ヘルノデス、ソコガ問題ニナリハセヌカ、ソレデ借入金モ公債ト見テ六十二條デヤツテ居ル、ソレハ結構デス、其ノ通りデス、ソコマデ解釋サレルナラバ、一方ニ國債ヲ起スト書イデアル、

○松田(正)委員 今ノ大臣ノ御話ハ公債ト云フコトト借入金ト云フコトハ同ジコトダ、是ハ結局同ジコトナノデスガ、憲法ニハ借入金ト書イデナイ、ケレドモ借入金ト云フモノハ公債ト同ジ性質ノモノダト云フノデ、借入金モ六十二條ニ依ツテ、之ヲヤハリ公債ト同様ニ扱ツテ居ル、サウスルト憲法ニ國債ヲ起スト云フコトデ金額ヲ入レテ居ラヌカラ、金額ハヤハリドウデモ宜イノダ、公債ヲ起スト云フコトハ國家的ニ協賛ヲ經テ置ケバソレデ宜イデハナイカ、斯ウ云フ風ニ議會人ハ直グニ考ヘルノデス、ソコガ問題ニナリハセヌカ、ソレデ借入金モ公債ト見テ六十二條デヤツテ居ル、ソレハ結構デス、其ノ通りデス、ソコマデ解釋サレルナラバ、一方ニ國債ヲ起スト書イデアル、

ニテ散會致シマス。

午後四時二十四分散會

國債ノ金額ヲ示シテ協賛ヲ經ベシト書イテ居ラヌカラ、金額ヲ示サズデモ構ハヌノダ、是ハ解釋ノ問題デアリマスケレドモ、少シ無理デハナイカト思ハレルノデスソレカラ今申シマシタ道路公債トカ、サウ云フ風ナモノハ、ソレハ成程不明確ノ部分モアル、併シ使フベキ範圍ト云フモノガヤハリ色々ノ法律デ決メラレテアル、其ノ法律ノ範圍内ニ於テ使フノデアル、併シ十本ノ川ガアルヤラ二十本ノ川ガアルヤラソレハ分ラヌト言ハレルカモ知レヌケレドモ、ソレハ國家ノ法律ニ依ツテ決メラレテ、其ノ範圍内ニ於テ負擔ヲシテ行ク、是モヤハリ公債ノ裏面ニ法律ガ動イテ居ル譯デアアルガ、實質ハ何モ法律ハ裏面デ動イテ居ナイノデス、唯繰入金ダケハソレハ差引スルト云フノデスカラ、ドウモソレト是トハ一緒ニハナラナイノデヤナイカト私ハ信ズルノデアリマス、ソレデスカラ南方開發ノ如キモ諄イヤウデスケレドモ、ソレハ已ムヲ得ヌガラウ、ダカラ是ハ此ノ額ガ表ハシテ行クデヤナイカト思ヒマスカラ質問ヲ續ケテ行ツタノデアリマス、是以上ハ別ノ機會ニ讓リマシテ、本日ハ此ノ程度デ質問ヲ打切ツテ置キマス

○矢野委員長 大藏大臣及ビ森山政府委員ニ御相談申上ゲマスガ、先刻來ノ質疑應答デハ、本日此ノ問題ノ質疑ヲ打切ルコトガ出來ナイノデアリマスガ、明日十時カラ開會致シタイト存ジマス、如何デセウ、御出席下サイマスカ、御出席ガナイト會議ガ進マナイノデアリマスガ……

○賀屋國務大臣 今明日ニハ申上ゲラレマセヌガ、成ベク繰合セテ出ルヤウニ致シマス

○矢野委員長 承知致シマシタ、本日ハ是

衆議院昭和十八年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案外九件委員會會議錄
第五回中正誤

頁段	行	誤	正
四三	四	保有米ヲ賣ツテ	保有米ヲ持ツテ
四三	四	保有米ヲ賣ツテ	保有米ヲ持ツテ
四三	四	保有米ヲ賣ツテ	保有米ヲ持ツテ

昭和十八年二月十七日印刷

昭和十八年二月十八日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局